

2011

学校法人  
金沢医科大学  
平成 23 年度事業報告書

# 平成 23 年度 事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)



学 校 法 人  
金 沢 医 科 大 学

2012. 5.29

## 平成 23 年度事業報告にあたって

金沢医科大学は、「良医を育てる」「知識と技術をきわめる」「社会に貢献する」ことを建学の精神にかかげ、「病気ではなく病人を診る」という「医の心」を原点に、患者の立場に立ち、患者に最も適した医療を提供できる医療人を育成してきました。

1972 年に開学し、創立 40 周年を迎える今日までに、医学生 3,508 名、看護学生 2,033 名が本学を巣立ちました。それぞれ医療人として国内外で活躍し、社会において種々の貢献がなされております。

平成 23 年度は、次世代を支える医療人を育成する機関として、必要な人材の受け入れ、機器施設の充実と老朽化対策を実施しました。また、グランドデザイン第 1 期計画の一環として、若手医師の定着を目的とする臨床教育研修センターの建設に着手し、創立 40 周年記念事業のための募金活動をスタートさせました。

大学部門では、入学志願者数の確保と国家試験の合格率向上を最優先課題として取り組みました。この結果、平成 24 年度の医学部入学志願者数は、過去最多となり、同 23 年度の医師国家試験は、過去最高の合格率となりました。また、看護師国家試験でも 2 年連続全員合格という結果でした。

病院部門では、入院単価の増や病床利用率向上により過去最高の収入額を確保しましたが、その一方で看護師不足が深刻で、病床の一部休止という事態となりました。

金沢医科大学氷見市民病院では、平成 23 年 9 月新病院に移転し、新たな診療体制での開院となりました。

この結果、平成 23 年度の収支決算は、学校法人全体では収入超過となりましたが、氷見市民病院では、新病院の移転、開院に伴う先行投資があって支出超過という結果でした。なお収支バランスを考慮した経営努力が必要と考えております。

これからも学内外ともに厳しい環境下にあります。教育水準、診療活動の向上、そして研究面での活性化を図りながら、本学が、多くの方面からの期待に応えることができる、高い評価を得られる大学をめざして、さらなる発展を期して教職員とともに力を合わせて努力していきたいと考えております。

平成 24 年 5 月

学校法人 金沢医科大学

理事長 竹 越 襄

## 目 次

|                        |   |
|------------------------|---|
| 平成 23 年度事業報告にあたって..... | 2 |
|------------------------|---|

### I 法人の概要

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1 . 建学の精神 .....                 | 5  |
| 2 . 教育目標 .....                  | 5  |
| 3 . 学校法人の所在地 .....              | 6  |
| 4 . 沿革 .....                    | 6  |
| 5 . 組織 .....                    | 8  |
| 6 . 役員・評議員・教職員の概要 .....         | 9  |
| 7 . 設置する学校・学部・学科等の名称及び定員等 ..... | 11 |
| 8 . 附属研究所及び病院 .....             | 11 |
| 9 . 設置する学校・学部・学科長等 .....        | 11 |
| 10 . 入学試験の状況 .....              | 12 |
| 11 . 医師国家試験合格率 .....            | 12 |
| 12 . 看護師等国家試験合格率 .....          | 12 |
| 13 . 学位授与状況 .....               | 12 |
| 14 . 学生数の推移 .....               | 13 |
| 15 . 外部資金の獲得状況 .....            | 13 |

### II 事業計画の進捗状況

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1. 法 人 部 門                     |    |
| 1) 金沢医科大学グランドデザイン第 1 期計画 ..... | 14 |
| 2) 創立 40 周年記念関連事業 .....        | 14 |
| 3) 各種施設設備の老朽化対策 .....          | 14 |
| 4) 医学部生・看護学部生への奨学金 .....       | 15 |
| 2. 大 学 部 門                     |    |
| 1) 入学志願者の確保 .....              | 15 |
| 2) 医学教育の充実 .....               | 15 |
| 3) 研究の活性化 .....                | 17 |
| 4) 大学院の活性化 .....               | 18 |
| 5) 図書館の充実 .....                | 18 |
| 6) 国際交流の推進 .....               | 19 |
| 7) 看護学部の整備 .....               | 20 |

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 3. 病 院 部 門                    |    |
| 1) 患者サービスの向上 .....            | 21 |
| 2) 医療安全の確保 .....              | 22 |
| 3) 患者と医療者のパートナーシップ強化 .....    | 22 |
| 4) 医療の高度化と質の向上 .....          | 23 |
| 5) 地域連携・地域貢献 .....            | 24 |
| 6) 教育研修 .....                 | 25 |
| 7) 人材確保と就業環境の改善 .....         | 25 |
| 8) 医療機器の整備 .....              | 26 |
| 9) 施設設備整備 .....               | 27 |
| 10) 収支改善 .....                | 28 |
| 11) 組織運営 .....                | 29 |
| 12) 平成 23 年度経営管理指標の達成状況 ..... | 29 |

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 4. 金 沢 医 科 大 学 氷 見 市 民 病 院 |    |
| 1) 新病院移転に関する事業 .....       | 31 |
| 2) 診療実績の状況 .....           | 32 |
| 3) 職員の採用状況 .....           | 33 |
| 4) 診療体制の整備 .....           | 34 |
| 5) 医療機器等の整備 .....          | 35 |
| 6) 経営指標 .....              | 36 |
| 7) 職員数 .....               | 37 |

### Ⅲ 財務の概要

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| 1 . 平成 23 年度決算の概要 .....                    | 38 |
| 2 . 最近 5 カ年の財務状況 .....                     | 45 |
| 3 . 平成 23 年度金沢医科大学氷見市民病院損益計算書及び貸借対照表 ..... | 50 |

## I 法人の概要

### 1. 建学の精神

#### ◇良医を育てる

倫理に徹した人間性豊かな良医を育成する

#### ◇知識と技術をきわめる

医学の深奥をきわめ優れた医療技術を開拓する

#### ◇社会に貢献する

生命の尊厳を基調とし人類社会の医療と福祉に貢献する



### 2. 教育目標

#### 【医学部】

医学部の教育の基本目標は、建学の精神に述べている「人間性豊かな良医の育成」にある。

「良医」とは、「常に患者の立場に立って考え、個々の患者に最も適した医療を提供できる、そして、それを可能とする知識と技術に精通した医師」である。医学部の6年間の卒前一貫教育、それに続く卒後初期臨床研修、専門医研修、そして大学院においては、まず医師としての人間形成を基本においたうえで、知的好奇心を育み、問題に立脚した解決能力を磨き、急速に進歩する医学に対応して生涯にわたって自己研修を行って未来を開拓していくことができる能力を獲得することを常に基本目標におき、良医育成のためのカリキュラムを展開している。

### 【看護学部】

#### 1. 看護職に必要な確かな知識と技術の修得

看護の対象となる人が、その人にとって最高レベルの健康を維持・増進できるように援助するために必要な確かな知識と技術を修得する。

#### 2. 問題解決能力の修得

複雑、多様化する社会状況の変化に柔軟に対応し、未知の課題に対応して幅広い視野からの確かな判断ができる能力(問題解決能力)を修得する。

#### 3. 自己開発能力の修得

生涯にわたって、看護学の奥深さを極め、優れた看護技術を開拓し、看護の専門性を深めていくための自己開発能力を修得する。

#### 4. 保健医療福祉チームと連携する能力の修得

保健医療福祉の現場で活動する多様な機関・他職種とともに、チームの一員として、共通の目標に向かって協働する能力を修得する。

#### 5. 看護職として必要な人間性の涵養

看護の対象となる人を理解し、その人の人権と意思を尊重した看護が提供できる倫理観を備える。社会のニーズの変化を察知し対応できる豊かな感性と教養を備える。

### 3. 学校法人の所在地

石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地（〒920-0293）

### 4. 沿革

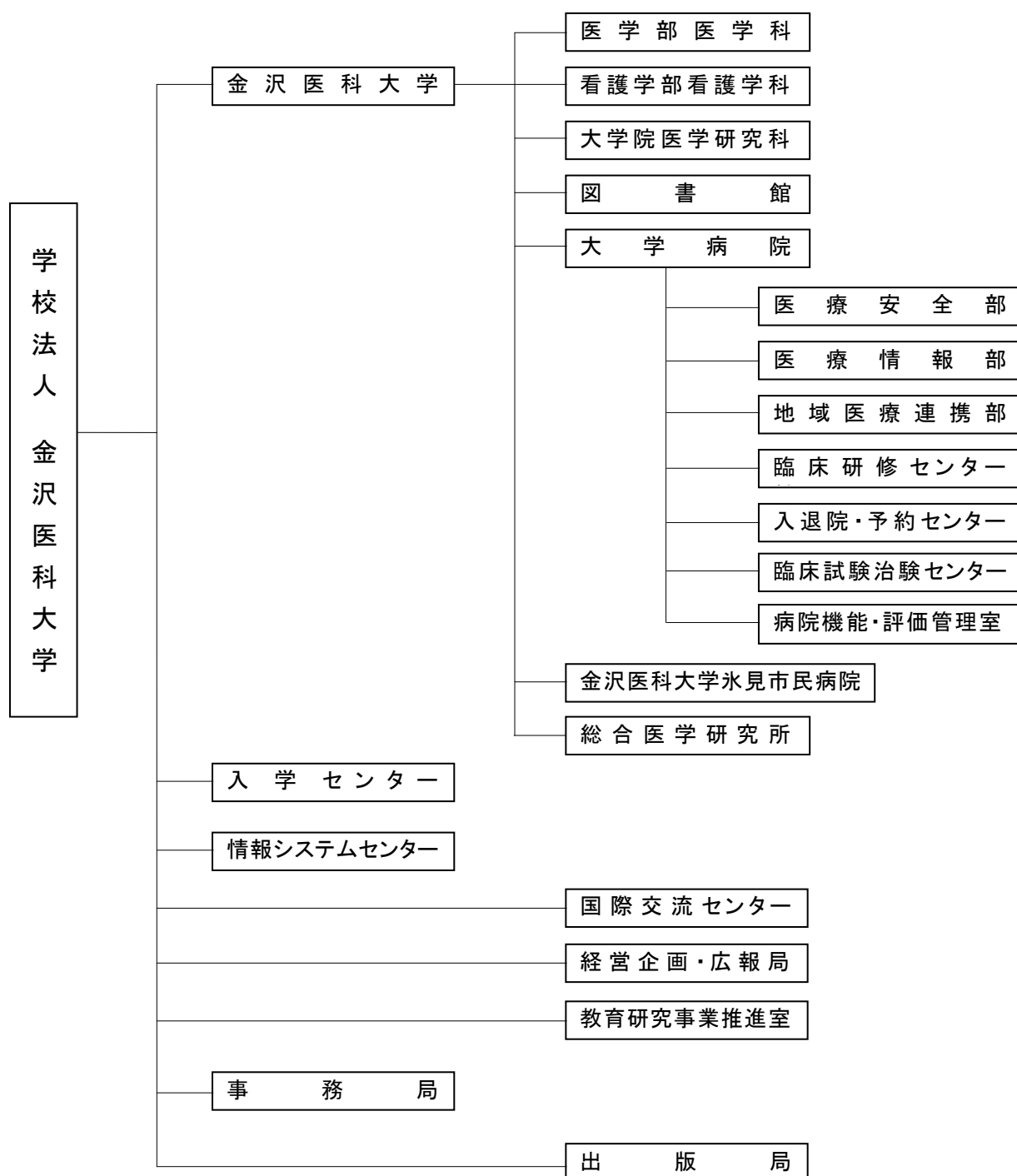
|       |       |                                          |
|-------|-------|------------------------------------------|
| 昭和47年 | 3月30日 | 学校法人金沢医科大学認可                             |
|       | 6月1日  | 金沢医科大学開学                                 |
| 昭和48年 | 4月1日  | 金沢医科大学附属看護学校開校                           |
| 昭和49年 | 9月1日  | 金沢医科大学病院開院                               |
| 昭和50年 | 7月1日  | 金沢医科大学歯学研究所開設                            |
| 昭和57年 | 4月1日  | 大学院医学研究科設置                               |
| 昭和58年 | 4月1日  | 熱帯医学研究所開設<br>人類遺伝学研究所開設                  |
| 昭和62年 | 2月10日 | 金沢医科大学病院別館稼働                             |
|       | 3月31日 | 金沢医科大学歯学研究所廃止                            |
| 昭和63年 | 4月1日  | 金沢医科大学附属看護専門学校に校名を変更                     |
| 平成元年  | 4月1日  | 総合医学研究所開設<br>(人類遺伝学研究所、熱帯医学研究所、共同研究室を統合) |
| 平成6年  | 3月24日 | 厚生省から特定機能病院に承認                           |
| 平成12年 | 10月1日 | 電子カルテ全科実施                                |

|       |        |                                              |
|-------|--------|----------------------------------------------|
| 平成15年 | 4月 1日  | 財団法人大学基準協会正会員への加盟・登録承認<br>大学院医学研究科生命医科学専攻開設  |
|       | 8月31日  | 病院新館竣工                                       |
| 平成16年 | 4月 1日  | 医学部講座組織の改組                                   |
| 平成17年 | 10月 1日 | 21世紀集学的医療センター設置                              |
| 平成19年 | 1月22日  | 病院機能評価バージョン5認定                               |
|       | 4月 1日  | 金沢医科大学看護学部看護学科開設                             |
|       | 11月21日 | 氷見市民病院指定管理者に決定                               |
| 平成20年 | 3月11日  | 財団法人大学基準協会大学基準適合認定                           |
|       | 4月 1日  | 指定管理者制度による金沢医科大学氷見市民<br>病院開設（私立学校法第26条の収益事業） |
| 平成21年 | 3月31日  | 金沢医科大学附属看護専門学校 廃校                            |
| 平成22年 | 8月 1日  | 能登北部地域医療研究所開設                                |
| 平成23年 | 2月25日  | 新アナトミーセンター竣工                                 |
|       | 9月 1日  | 金沢医科大学氷見市民病院移転新築                             |
| 平成24年 | 1月22日  | 病院機能評価バージョン6認定                               |

## 5. 組織

### 金沢医科大学 組織図

(平成 23 年 5 月 1 日現在)



## 6. 役員・評議員・教職員の概要

役員・評議員・教職員の概要は次のとおり。

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

### 【役 員】

|     |             |                         |  |
|-----|-------------|-------------------------|--|
| 理 事 | 理 事 長       | 竹 越 襄                   |  |
|     | 副理事長        | 高 島 茂 樹 (金沢医科大学氷見市民病院長) |  |
|     | 副理事長        | 松 本 忠 美                 |  |
|     | 常務理事        | 中 農 理 博 (事務局長)          |  |
|     | 理 事         | 勝 田 省 吾 (学長)            |  |
|     | 理 事         | 川 上 重 彦 (病院長)           |  |
|     | 理 事         | 山 下 公 一                 |  |
|     | 理 事         | 篠 原 治 道                 |  |
|     | 理 事         | 飯 塚 秀 明                 |  |
|     | 理 事         | 梅 博 久                   |  |
|     | 理 事         | 宮 村 栄 一                 |  |
|     | 理 事         | 坂 本 滋 夫                 |  |
|     | 理 事         | 木 村 晴 夫                 |  |
|     | 理 事         | 大野木 辰 也                 |  |
|     | 理 事         | 伊 藤 博 明                 |  |
|     | 理 事         | 奥 名 洋 明                 |  |
|     | 理 事         | 澁 谷 亮 治                 |  |
|     | 理 事         | 久 藤 豊 治                 |  |
|     | 理 事         | 飛 田 秀 一                 |  |
|     | 理 事         | 大 島 讓 二                 |  |
|     | 理 事         | 吉 田 勝 明                 |  |
| 監 事 | 大 田 修 米 沢 寛 | 以上 理事 21 名              |  |
|     |             | 以上 監事 2 名               |  |

### 【評 議 員】

|         |           |             |         |
|---------|-----------|-------------|---------|
| 竹 越 襄   | 勝 田 省 吾   | 川 上 重 彦     | 高 島 茂 樹 |
| 山 下 公 一 | 篠 原 治 道   | 中 農 理 博     | 宮 村 栄 一 |
| 奥 名 洋 明 | 久 藤 豊 治   | 澁 谷 亮 治     | 飛 田 秀 一 |
| 梅 原 久 範 | 大野木 辰 也   | 木 村 晴 夫     | 小 平 俊 行 |
| 高 田 昌 美 | 梅 博 久     | 中 川 秀 昭     | 古 居 滋 仁 |
| 宮 本 文 夫 | 森 豊 茂     | 森 本 茂 人     | 横 山 享 勉 |
| 伊 藤 透 志 | 大 島 讓 二   | 角 田 弘 一     | 神 田 秀 明 |
| 斎 藤 人 道 | 坂 本 滋 博   | 吉 田 勝 貴     | 飯 塚 孝 治 |
| 伊 川 廣 幸 | 伊 藤 故 茂   | 小 森 明 明     | 鈴 木 洋 一 |
| 鈴木 宗 忍  | 堂 松 本 浩 平 | 飛 田 忠 美     | 姫 野 茂 夫 |
| 松 井 泰 成 | 松 本 達     | 松 本 隆 昭     | 八 木     |
| 八十出     | 山 本       | 横 山         |         |
|         |           | 以上 評議員 47 名 |         |

【教職員数合計】 (平成 23 年 5 月 1 日現在 単位：人)

| 年度              | 教員数 |     | 職員数   |       | 医員・臨床研修医 |    | 計     |       |
|-----------------|-----|-----|-------|-------|----------|----|-------|-------|
|                 | 男   | 女   | 男     | 女     | 男        | 女  | 男     | 女     |
| 平成 21 年度<br>(計) | 491 | 119 | 330   | 1,342 | 61       | 40 | 882   | 1,501 |
|                 | 610 |     | 1,672 |       | 101      |    | 2,383 |       |
| 平成 22 年度<br>(計) | 505 | 133 | 330   | 1,375 | 71       | 35 | 906   | 1,543 |
|                 | 638 |     | 1,705 |       | 106      |    | 2,449 |       |
| 平成 23 年度<br>(計) | 512 | 131 | 364   | 1,423 | 76       | 29 | 952   | 1,583 |
|                 | 643 |     | 1,787 |       | 105      |    | 2,535 |       |

医学部教員数内訳

| 年度              | 教授 |   | 准教授 |   | 講師 |    | 非常勤講師 |    | 助教  |    | 助手・研究員 |    | 計   |     |
|-----------------|----|---|-----|---|----|----|-------|----|-----|----|--------|----|-----|-----|
|                 | 男  | 女 | 男   | 女 | 男  | 女  | 男     | 女  | 男   | 女  | 男      | 女  | 男   | 女   |
| 平成 21 年度<br>(計) | 74 | 7 | 48  | 5 | 49 | 6  | 176   | 22 | 128 | 47 | 10     | 6  | 485 | 93  |
|                 | 81 |   | 53  |   | 55 |    | 198   |    | 175 |    | 16     |    | 578 |     |
| 平成 22 年度<br>(計) | 75 | 6 | 57  | 5 | 49 | 10 | 183   | 26 | 123 | 47 | 9      | 12 | 496 | 106 |
|                 | 81 |   | 62  |   | 59 |    | 209   |    | 170 |    | 21     |    | 602 |     |
| 平成 23 年度<br>(計) | 80 | 6 | 54  | 4 | 51 | 12 | 190   | 18 | 119 | 54 | 10     | 8  | 504 | 102 |
|                 | 86 |   | 58  |   | 63 |    | 208   |    | 173 |    | 18     |    | 606 |     |

看護学部教員数内訳

| 年度              | 教授 |   | 准教授 |   | 講師 |   | 助教 |    | 助手・研究員 |   | 計  |    |
|-----------------|----|---|-----|---|----|---|----|----|--------|---|----|----|
|                 | 男  | 女 | 男   | 女 | 男  | 女 | 男  | 女  | 男      | 女 | 男  | 女  |
| 平成 21 年度<br>(計) | 3  | 6 | 3   | 4 | 0  | 4 | 0  | 11 | 0      | 1 | 6  | 26 |
|                 | 9  |   | 7   |   | 4  |   | 11 |    | 1      |   | 32 |    |
| 平成 22 年度<br>(計) | 5  | 6 | 3   | 5 | 0  | 4 | 1  | 11 | 0      | 1 | 9  | 27 |
|                 | 11 |   | 8   |   | 4  |   | 12 |    | 1      |   | 36 |    |
| 平成 23 年度<br>(計) | 4  | 8 | 3   | 6 | 0  | 6 | 1  | 9  | 0      | 0 | 8  | 29 |
|                 | 12 |   | 9   |   | 6  |   | 10 |    | 0      |   | 37 |    |

医員・臨床研修医数内訳

| 年度              | 医員 |    | 臨床研修医 |    | 計   |    |
|-----------------|----|----|-------|----|-----|----|
|                 | 男  | 女  | 男     | 女  | 男   | 女  |
| 平成 21 年度<br>(計) | 31 | 23 | 30    | 17 | 61  | 40 |
|                 | 54 |    | 47    |    | 101 |    |
| 平成 22 年度<br>(計) | 44 | 17 | 27    | 18 | 71  | 35 |
|                 | 61 |    | 45    |    | 106 |    |
| 平成 23 年度<br>(計) | 42 | 21 | 34    | 8  | 76  | 29 |
|                 | 63 |    | 42    |    | 105 |    |

職員数内訳

| 年度              | 事務系 |     | 技術技能系 |    | 医療系   |     | 教務系 |    | その他 |     | 計     |       |
|-----------------|-----|-----|-------|----|-------|-----|-----|----|-----|-----|-------|-------|
|                 | 男   | 女   | 男     | 女  | 男     | 女   | 男   | 女  | 男   | 女   | 男     | 女     |
| 平成 21 年度<br>(計) | 98  | 135 | 46    | 18 | 163   | 907 | 3   | 17 | 20  | 265 | 330   | 1,342 |
|                 | 233 |     | 64    |    | 1,070 |     | 20  |    | 285 |     | 1,672 |       |
| 平成 22 年度<br>(計) | 103 | 144 | 47    | 24 | 174   | 912 | 2   | 24 | 4   | 271 | 330   | 1,375 |
|                 | 247 |     | 71    |    | 1,086 |     | 26  |    | 275 |     | 1,705 |       |
| 平成 23 年度<br>(計) | 99  | 132 | 42    | 20 | 197   | 947 | 3   | 26 | 23  | 298 | 364   | 1,423 |
|                 | 231 |     | 62    |    | 1,144 |     | 29  |    | 321 |     | 1,787 |       |

\* 技術技能系・・・技術職員・技能職員 \* 医療系・・・看護職員及び医療技術系職員

\* 教務系・・・研究補助員等 \* その他・・・臨時・パート・補助員等

※金沢医科大学氷見市民病院を含む教職員数

## 7. 設置する学校・学部・学科等の名称及び定員等

平成23年度において、本法人が設置する学校・学部・学科等は下記のとおり。

(平成23年5月1日現在)

(単位：人)

| 学 校 名  |              | 入学定員                | 収容定員  | 現員    |
|--------|--------------|---------------------|-------|-------|
| 金沢医科大学 | 大学院<br>医学研究科 | 35                  | 140   | 84    |
|        | 医学部<br>医学科   | 110                 | 630   | 666   |
|        | 看護学部<br>看護学科 | 60<br>3年次への編入<br>10 | 260   | 251   |
| 合 計    |              | 215                 | 1,030 | 1,001 |

## 8. 附属研究所及び病院

| 名 称           | 所 在 地                         |
|---------------|-------------------------------|
| 金沢医科大学総合医学研究所 | 石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地（〒920-0293） |
| 金沢医科大学病院      | 石川県河北郡内灘町字大学1丁目1番地（〒920-0293） |
| ※金沢医科大学氷見市民病院 | 富山県氷見市鞍川1130番地（〒935-8531）     |

※金沢医科大学氷見市民病院は私立学校法第26条の収益事業。設置者は富山県氷見市。

## 9. 設置する学校・学部・学科長等

(平成23年5月1日現在)

|          |       |       |
|----------|-------|-------|
| 金沢医科大学   | 学長    | 勝田 省吾 |
| 医学部医学科   | 医学部長  | 梶 博久  |
| 看護学部看護学科 | 看護学部長 | 伊川 廣道 |
| 大学院医学研究科 | 研究科長  | 野島 孝之 |
| 一般教育機構   | 機構長   | 松田 博男 |
| 図書館      | 館長    | 利波 久雄 |
| 総合医学研究所  | 所長    | 竹上 勉  |
| 学生部      | 部長    | 森本 茂人 |
| 医学部教務部   | 部長    | 横山 仁  |
| 医学教育センター | センター長 | 飯塚 秀明 |

## 10. 入学試験の状況

### 医学部入試状況

| 年 度      | 一 般   |     |       |       |    |     | 推 薦※ |     |      | AO  |     |       |
|----------|-------|-----|-------|-------|----|-----|------|-----|------|-----|-----|-------|
|          | 志願者   | 入学者 | 倍率    | 入学者内訳 |    |     | 志願者  | 入学者 | 倍率   | 志願者 | 入学者 | 倍率    |
|          | (人)   | (人) | (倍)※  | 現役    | 一浪 | その他 | (人)  | (人) | (倍)※ | (人) | (人) | (倍)※  |
| 平成 22 年度 | 1,981 | 70  | 28.30 | 9     | 15 | 46  | 76   | 24  | 3.16 | 120 | 11  | 10.90 |
| 平成 23 年度 | 2,258 | 69  | 32.72 | 4     | 14 | 51  | 86   | 26  | 3.31 | 136 | 10  | 13.60 |
| 平成 24 年度 | 2,427 | 67  | 36.22 | 3     | 25 | 39  | 95   | 26  | 3.65 | 156 | 12  | 13.00 |

※推薦には指定校・指定地域推薦を含む。 ※倍率＝志願者÷入学者

\*編入学（第1学年後期編入）は除く。

### 看護学部入試状況

| 年 度      | 一 般 |     |      |       |    |     | 推 薦 |     |      |
|----------|-----|-----|------|-------|----|-----|-----|-----|------|
|          | 志願者 | 入学者 | 倍率   | 入学者内訳 |    |     | 志願者 | 入学者 | 倍率   |
|          | (人) | (人) | (倍)※ | 現役    | 一浪 | その他 | (人) | (人) | (倍)※ |
| 平成 22 年度 | 139 | 44  | 3.15 | 40    | 4  | 0   | 23  | 22  | 1.04 |
| 平成 23 年度 | 163 | 46  | 3.54 | 44    | 2  | 0   | 47  | 22  | 2.14 |
| 平成 24 年度 | 202 | 47  | 4.30 | 45    | 1  | 1   | 41  | 22  | 1.86 |

※倍率＝志願者÷入学者 \*編入学（第3年次編入）は除く。

## 11. 医師国家試験合格率

| 年（回）             | 新卒者のみ | 既卒者込  | 全国平均  |
|------------------|-------|-------|-------|
| 平成 22 年（第 104 回） | 81.1% | 77.9% | 89.2% |
| 平成 23 年（第 105 回） | 82.5% | 81.4% | 89.3% |
| 平成 24 年（第 106 回） | 93.0% | 90.1% | 90.2% |

## 12. 看護師・保健師・助産師国家試験合格率

| 平成 23 年度国家試験（回）  | 平成 23 年度卒業生 | 全国平均  |
|------------------|-------------|-------|
| 看護師国家試験（第 101 回） | 100%        | 90.1% |
| 助産師国家試験（第 95 回）  | 100%        | 95.0% |
| 保健師国家試験（第 98 回）  | 92.9%       | 86.0% |

## 13. 学位授与状況

（単位：人）

| 研究科   | 学位     | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 |
|-------|--------|----------|----------|----------|
| 医学研究科 | 博士（課程） | 16       | 19       | 13       |
|       | 博士（論文） | 2        | 3        | 1        |
| 計     |        | 18       | 22       | 14       |

#### 14. 学生数の推移

(単位：人)

| 学校名    | 学部・研究科・学科 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 |
|--------|-----------|----------|----------|----------|
| 金沢医科大学 | 医学部       | 659      | 672      | 666      |
|        | 看護学部      | 192      | 256      | 251      |
|        | 医学研究科     | 84       | 87       | 84       |
| 計      |           | 935      | 1,015    | 1,001    |

#### 15. 外部資金の獲得状況

平成 23 年度

(単位：円)

|       |                      | 医 学 部       | 看護学部       | 総合医学研究所     | 一般教育機構    | 合 計         |
|-------|----------------------|-------------|------------|-------------|-----------|-------------|
| 1     | 科学研究費補助金             | 172,982,563 | 22,737,000 | 8,320,000   | 4,264,000 | 208,303,563 |
| 2     | 政府もしくは政府関連法人からの研究助成金 | 96,863,255  | -          | 60,470,054  | -         | 157,333,309 |
| 3     | 民間の研究助成団体等からの研究助成金   | 22,400,000  | 500,000    | -           | -         | 22,900,000  |
| 4     | 研究助成金(奨学寄付金)         | 261,093,865 | -          | 22,700,000  | -         | 283,793,865 |
| 5     | 受託研究費                | 35,757,855  | -          | 3,004,841   | -         | 38,762,696  |
| 6     | 共同研究費                | 10,049,999  | -          | 6,200,000   | -         | 16,249,999  |
| 7     | その他(研究関連収入)          | 6,101,580   | -          | -           | -         | 6,101,580   |
| 研究費総額 |                      | 605,249,117 | 23,237,000 | 100,694,895 | 4,264,000 | 733,445,012 |

- ・ 1～2 は、間接経費を含む。また、学外から配分された額(分担金)を含む。
- ・ 4～7 は、申込書受付ベースの額。
- ・ 5 は、治験を除く額。
- ・ 健康管理センター、内視鏡科等は医学部でカウント
- ・ FDD-MB センターは総合医学研究所でカウント

## Ⅱ. 事業計画の進捗状況

### 1. 法 人 部 門

#### 1) 金沢医科大学グランドデザイン第1期計画

創立40周年記念事業の一環として実施されるグランドデザイン第1期計画の第2年度目となる平成23年度には、以下の事業を実施した。

- ・臨床研修医の定着を目的として、臨床研修医宿舎（臨床教育研修センター（仮称））の建設が計画され、平成23年12月に着工した。施設は8階建て、2LDK12戸、1LDK53戸のほか、カンファレンスルーム、談話室、トランクルームなどを備える。
- ・旧アナトミーセンター・旧CT室・旧RI棟の跡地に医学教育棟を建設するものとし、医学教育棟の詳細設計と病院1号棟（エントランス棟（仮称））の実施設計を進めた。



グランドデザインパス

#### 2) 創立40周年記念関連事業

- ・グランドデザイン第1期計画の遂行のため、募金委員会を中心として総額15億円を目標に、募金趣意書及び募集のためのホームページを作成し、職員及び本学卒業生の同窓会（北辰同窓会）、その他関係団体に対し平成23年11月から募集案内を行った。
- ・四十年史編集委員会のもと、金沢医科大学四十年史（本学通史）並びに金沢医科大学創立40周年記念誌（北辰同窓会関連）及び金沢医科大学看護同窓会誌の3誌の発行のため、関係者・関係部署に原稿執筆を依頼、90%の原稿を収集し、編集作業を進めた。

#### 3) 各種施設設備の老朽化対策

- ・病院新館、第二新館を除くほとんどが設置後35年を経過している本学のエレベータについて、老朽化対策、安全運転の維持確保のため、臨床研究棟の3号機（非常用エレベータ）を更新した。
- ・海岸に近い立地環境にあり、潮風・砂塵による影響で駐車場ゲート装置の故障が頻発しているため、平成23年度は、使用頻度が高く修理件数の多いゲート装置から順次更新を行った。また、平成24年度の職員用パスカードのICカード化のための準備を実施した。
- ・建物の空調・電気・防災等設備の集中監視及び遠隔操作を行う中央監視装置は設置後28年を経過し、修理や設計・保守の対応が困難になったものについて、長期的な機能維持を

目指し、病院別館の中央監視装置を更新した。

- ・病院新館 3 階既滅菌室の空調設備の改修、老朽化した臨床研究棟のペントハウスのルーバーの修繕を実施した。
- ・平成 18 年度の導入から 5 年を経過し、サーバの保守期限切れや財務システムの劣化への対策として、平成 22 年度の人事システムの改修にも対応するべく、財務システムの改修を行った。

#### 4) 医学部生・看護学部生への奨学金

医師・看護師確保対策として、本学の医学部生、看護学部生を対象に金沢医科大学病院において一定期間勤務することにより返還が免除される奨学金制度を継続し、人材の定着化を目指し、医学部学生計 30 名、看護学部学生計 184 名に貸与した。

## 2. 大 学 部 門

### 1) 入学志願者の確保

#### 【医学部】

- ・平成 24 年度医学部入学生募集にあたり、入学志願者数 2,600 名以上の確保を目標に、医学部進学予備校訪問や進学相談会への参加を強化し、学生確保に努めた結果 2,678 名の志願があった。
- ・第 1 学年後期に編入学となる編入学試験では、76 名の出願があり 5 名が入学した。
- ・医学部特別奨学金貸与制度では、入学生 105 名のうち 6 名が特奨生として入学した。

#### 【看護学部】

- ・平成 24 年度看護学部入学生募集にあたり、入学志願者数 230 名以上の確保を目標に、特に高等学校訪問の徹底、北陸三県及び新潟県出身者向け受験情報誌への広告掲載など地元志向の強い看護系志願者の取り込みに努めた結果 243 名の志願があった。
- ・第 3 学年に編入学となる編入学試験では、3 名の出願があり 2 名が入学した。
- ・看護学部特別奨学金貸与制度では、入学生 69 名のうち 2 名が特奨生として入学した。

### 2) 医学教育の充実

卒前医学教育の充実を図り、良医の育成及び医師国家試験の合格率の向上を目指して、以下の事業を展開した。

#### ①医師国家試験強化対策

国試対策室及び国試対策委員会が中心となって以下の対策を実施し、平成 24 年 2 月実施の第 106 回医師国家試験では、新卒 115 名中 107 名が合格（合格率 93%）、既卒 26 名中 20 名が合格（合格率 70%）、総合で 141 名中 127 名が合格（合格率 90.3%）で、新卒・既卒合計の合格者数は全国第 1 位に、その合格率は本学の過去最高の合格率となった。

- ・病院本館 5 階「ステューデント・ドクター医局（通称：SD 医局）」の本格的活用、グループ学習室の拡充など学習環境の整備
- ・診療における 110 手技の動画をオンデマンド化した医療手技動画教材（Procedure Consult）の導入、有用な教材の購入
- ・国試対策強化講習会の開催、全国各地での既卒者との面談実施など既卒者対策、他大学の視察



スチューデント・ドクター医局の様子

## ②臨床教育の充実

平成 21 年度に開設したクリニカル・シミュレーション・センター（CSC）では臨床実習前、臨床実習中の授業としての利用が着実に増加している。医学部学生、看護学部学生、臨床研修医、医師、看護師等を対象に更なる臨床教育の充実を目指し、平成 23 年度にはシミュレータ 10 点（約 12,488 千円）を整備した。

## ③教育環境の整備

学生に良質な医学教育を提供するため、年度計画に基づき、次のとおり教育環境の整備を実施した。

- ・ A31, D31, D41, D51 の基幹講義室において光ワイヤレス放送設備を整備し、混線対策を施した。
- ・ 第 5 学年学生自習室において、損傷の激しい既存ブラインドからロールスクリーンカーテンに入れ替え整備した。
- ・ SD 医局において、グループ学習室やラウンジの防音設備やトイレ設備の改善、個人学習機のサイドパネル追加整備、その他傘立てや空気清浄機等備品の整備を実施した。
- ・ 携帯ネット.com において、携帯アドレス再登録時の自動セット機能の追加や、電子掲示に併せて送信されるメール本文中への PDF リンク機能の追加、学生アンケートの電子化に伴うアンケート機能強化、教員の教材アップ作業のサポート機能の強化など、各種整備を実施した。
- ・ 電子シラバスにおけるレポート提出機能の強化を実施した。
- ・ 各講座から要望のあった教育・実習用機器については、整備検討委員会において緊急性、必要性を審議し、超音波診断装置や手術者用ヘッドビデオカメラシステム等、計 8 件（約 9,963 千円）の整備を実施した。

#### ④学生生活の環境整備

学生に良質な学生生活を提供するため、年度計画に基づき、次のとおり教育環境の整備を実施した。

- ・ 損傷劣化の著しいテニスコートの整備、バスケットボールのルール改訂に対応したラインの引き直しを含む体育館 2 階の床面の全面改修等を実施した。
- ・ 年々増加傾向にあるカウンセリング希望の学生に対応するため、カウンセリング室の拡充を含む学生保健室の改装・整備を実施した。
- ・ 学生ラウンジの大型テレビと臨床研究棟 1 階食堂内の厨房設備の更新を実施した。

### 3) 研究の活性化

#### ①科学研究費助成事業（科研費）等の外部資金獲得件数の拡大

- ・ 科学研究費助成事業（科研費）の研究代表者としての獲得件数は 75 件、総額 1 億 7,082 万円で、件数・金額とも過去最高となり、私立医科大学 29 校中 21 位（昨年度 24 位）となった。また、私立大学では申請校 535 校中 40 位（昨年度 523 校中 54 位）であった。
- ・ 平成 24 年度に開学 40 周年を迎えるにあたり、本学の研究活性化と卒業生等の若手研究者の育成を目的とした特別推進研究、特別奨励研究の助成制度を実施した。

#### ②産学官連携の推進

本学の研究シーズと企業等の技術ニーズの融合により社会の医療と福祉の向上に貢献することを目的に、次のとおり産学官連携事業を実施した。

- ・ 従来からの産学連携コーディネータに加え、リサーチアドミニストレータを新規採用するなど産学官連携体制を強化した。
- ・ 国際バイオエキスポ等のビジネスフェアや地域企業とのビジネスマッチングへ参画した。
- ・ 医療健康機器研究会（石川県鉄工機電協会）からの要請に応え医療現場見学会を開催した。
- ・ 出願した特許は 7 件であり、職務発明規程を制定した平成 19 年度から数えて延べ 24 件となった。
- ・ 本学での研究成果の社会還元の一環として、小学生 5、6 年生を対象とした「ひらめき☆ときめきサイエンス」及び高校生のための医学の魅力講座「七尾高校スーパーサイエンスハイスクール金沢医科大学プログラム」を引き続き実施した。

#### ③ハイテクリサーチセンター研究成果の公表

平成 19 年度から文部科学省の補助事業として実施してきたハイテクリサーチセンター・プロジェクト研究 3 件が、平成 23 年度に最終年度を迎えた。それらの研究成果の公表を目的として、報告書作成と全国の研究機関への送付並びに公開シンポジウムを実施した。

#### ④共同利用機器の整備

医学部、看護学部及び総合医学研究所など学内研究者の研究環境の向上を目的に、文部科学省への補助金交付決定を受け、大型共同利用研究機器・細胞分析装置「フローサイトメータ」を導入した。



BD FACSCanto™ II フローサイトメータ

#### ⑤金沢工業大学との連携事業の推進

平成 20 年度に文部科学省の採択を受けた「金沢医科大学と金沢工業大学による教育研究協力を通じた有機的な医工連携」は、平成 23 年度においては、この事業を通じて培ったノウハウを活かし、お互いに有益と思われる事業については共同研究を推進し、医工連携セミナーや研究成果報告会を共同開催し、研究の紹介や共同研究の成果発表が行われた。

#### ⑥近隣自治体との連携

- ・金沢市が主催する「女性の健康推進プロジェクト」が発足し、看護学部生が委員として委嘱され、市の事業に参画した。
- ・内灘町との連携事業として、大学コンソーシアム石川が実施する学生のゼミグループと地方公共団体の交流により地域振興を目指す「地域貢献型学生プロジェクト推進事業」に採択され、内灘町地域公民館で高齢者を対象に世代間の交流を行う連携事業を実施した。

### 4) 大学院の活性化

#### ①大学院生奨学費による経済的支援

大学院生の充足と研究活動の活性化を図るため、大学院 1 年次～4 年次までの学生 84 名の授業料減免を行い経済的負担の軽減を図った。

#### ②北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

北陸の 5 大学（本学、金沢大学、富山大学、福井大学、石川県立看護大学）の連携を通じた文部科学省採択の「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」では、共通カリキュラムによる融合型教育の相互補完、テレビ会議システムによる双方向型授業等を行っている。

平成 23 年度には、科目等履修生 1 名を受け入れ、教育セミナー 1 件（分子腫瘍学が担当し、KMU 研究推進セミナーと共催）、市民公開講座 3 件（消化器外科治療学、腫瘍内科学、泌尿生殖器治療学）を開催した。また、日中がんプロフェッショナル養成プロジェクト（先進呼吸器外科学）の一環として外国人講師 2 名を招聘し、キャンサーボードを実施した。

### 5) 図書館の充実

#### ①電子ジャーナルの活用促進

本学では平成 18 年度から電子ジャーナルを導入しており、平成 23 年度には約 5,500

タイトルがフルテキストで閲覧可能となっている。学内説明会の開催や学外からのサービスが利用可能であることを周知し、電子ジャーナルの利用を促進した。

## ②基本設備の更新（LIMEDIOの更新）

平成 16 年度に導入した図書館情報管理システム（LIMEDIO）のハードウェアの老朽化、また保守契約の終了に伴い、平成 23 年度に更新した。また併せてソフトウェアに関しても、最新バージョンへの更新を行った。

## 6) 国際交流の推進

### ①短期研究員受け入れ事業

優秀な外国人研究者を獲得し、本学の研究活性化を図ることを目的とし、以下の短期研究員及び留学生の受け入れ事業を行った。

- ・中国の 3 姉妹機関（中国医科大学、華中科技大学附属同済医学院、中日友好病院）との共同研究を推進するため、姉妹校プロジェクト研究員の受け入れを実施した。姉妹校プロジェクト研究課題として本学から申請のあった 11 件に対し、各機関から 6 件の応募があり、選考のうえ、姉妹校プロジェクト研究員 3 名を決定し、受け入れた。
- ・姉妹校枠以外として、外国人短期研究員 1 名を決定し、受け入れた。
- ・姉妹校大学院生として、1 名（中国医科大学、平成 24 年 4 月入学）を受け入れた。

### ②海外教育交流事業

本学学部生の国際感覚と英語コミュニケーション能力を高めることを目指し、以下の事業を展開した。

- ・海外医学研修プログラム（アメリカのマーサ大学、バーモント大学、ハワイ大学、テキサス A&M 大学、ドイツのマクデブルク大学）として 13 名の学生を派遣し、1 名の学生（バーモント大学）を受け入れた。
- ・語学研修プログラム（ソノマ大学、ハワイ CAPE）として、医学部及び看護学部生 20 名を派遣した。
- ・平成 23 年度（独）日本学生支援機構留学生交流支援制度「ショートステイ・ショートビジット」に「米国医学生と共に学ぶ医学臨床実習」プログラムとして応募し、採択された。海外医学研修プログラムのうちマーサ大学、ハワイ大学、バーモント大学春期派遣学生の 8 名について、本制度による奨学金（総額 640 千円）を支給した。

### ③海外学術交流事業

中国・ベトナム・ロシアの姉妹機関との交流促進のため、相互訪問等によってお互いの理解を深めることを目的に、以下の事業を展開した。

- ・華中科技大学同済医学院において、「老年病の基礎と臨床」をテーマに「日中学術講演会 2011（第 2 回）」を実施した。（本学講演者：加藤伸郎教授（生理学Ⅰ）、森本茂人教授（高齢医学））
- ・ロシア・ヤロスラブリ医科大学において、共同研究を目的とするシンポジウムを開催した。（本学講演者：梅原久範国際交流委員長、伊藤透教授（内視鏡科））
- ・華中科技大学同済医学院附属協和病院 145 周年記念式典に出席した。  
（勝田省吾学長 他 3 名）

## 7) 看護学部を整備

### ①教育体制の強化

看護学部のカリキュラムにおいて、専門基礎領域（疾病・障害の理解）の内科学、外科学、小児科学、産科学の講義時間が少ないという問題への対策として、平成 23 年度入学生からこれらの科目を第 1 学年の必修科目に取り入れ、同時に第 2 学年にも補講として合同で受講させ、医科学領域の学力の底上げを行った。

### ②単位制から学年制への移行

卒業生の学力を保証し国家試験の高い合格率を維持するため、学力評価に関して以下の対策を実施した。

- ・平成 23 年度入学生から、従来の単位制から学年制に改訂し、学年ごとの総合的な学力を保持する体制を取り入れた。
- ・平成 22 年度入学生から導入した第 2 学年及び第 4 学年末に行う標準試験は、本年度に初めて第 2 学年の学生に実施された。

### ③看護師国家試験対策への取り組み

入学から 4 年間一貫してきめ細かい教育指導を行うクラス担任制度や、看護学部国家試験対策委員会による指導体制の結果、看護師及び助産師国家試験については、平成 22 年度及び平成 23 年度において 2 年連続で 100%の合格率を達成した。

### ④看護学部教育環境整備

看護学部生に良質な教育環境を提供するため、次のとおり施設整備を実施した。

- ・4 号棟の空調機器、第 1 講義室の机・椅子及び第 2 講義室の教卓マイク・ビデオ等の更新を実施した。
- ・前年度の国試合格率の好結果を継続すべく、年度途中で補正予算を組み、2 号棟（旧看護学校校舎）学生ラウンジ改修及び 2 階トイレ改修の事業を行い、自学自習施設及びアメニティを充実させた。
- ・本年度の入学生が増加したことを踏まえ、実習用ベッドを増設する等、増員に即した教育設備の整備を行った。



改修された学生ラウンジ

### ⑤大学院の設置準備

大学院に看護学研究科修士課程を設置するため、平成 22 年度、看護学部内に大学院設置構想検討委員会を設置した。他大学の大学院の設置状況や教員の業績調査の結果、平成 27 年度に看護学研究科（修士課程）を開設することとし、平成 24 年度から看護系大学院設置準備室を設置することとなった。

### ⑥自己点検・自己評価（管理運営）

平成 19 年度の開設から完成年度を経過したことを踏まえ、平成 23 年度に看護学部自己点検・評価報告書作成委員会（委員長：伊川看護学部長）を設置し、大学基準協会の評価基準に沿って看護学部の自己点検・評価を実施し、「自己点検・評価報告書 2011 年度」として取り纏め、刊行した。

### ⑦地域の保健医療向上への貢献

本学部における実習と地域の各施設との連携や、近隣自治体や石川県の生涯教育活動への講師派遣を通じた保健医療・福祉の向上に貢献するため、本学病院ほか石川県内の 46 施設において看護学部生の実習教育を実施した。

## 3. 病 院 部 門

### 1) 患者サービスの向上

#### ①接遇改善の推進

患者サービス及び接遇対応の意識と技法の向上を目的とした接遇研修会は、毎年継続的に開催されている。平成23年度は平成24年2月に開催され、医師、看護師、コメディカル、事務職員ほか、他の医療機関からの参加者も含め計477名の参加があった。

#### ②紹介患者受診の利便性の向上

紹介患者の受け入れ機能を充実し、地域医療機関からの電話での検査予約、フリーダイヤルFAXを利用した受診（新患・初診）予約の受付など、紹介患者受診時の利便性を更に高めた。また、専任看護師配置の下、緊急時の対応や転院受け入れを行った。

#### ③外来診察待ち時間の短縮化

採血・検尿の待ち時間については平均30～40分以内、心電図は平均20分以内、X線は平均10分以内、会計窓口は平均5分以内を待ち時間の目標としている。特に採血室では、患者数、待ち時間の実態を把握し、技師数の集中配置や待ち時間を表示するなどの対応を行った。

#### ④ホームページのリニューアルほか広報の充実

病院のホームページにおいて、各診療科及び各診療部門の業務内容や特色・特徴等について常に最新の情報を提供した他、治療実績等の臨床指標（クリニカル・インディケータ）、各種イベント情報の発信や東日本大震災に係る当院の医療支援の状況等、幅広く広報を行った。

## 2) 医療安全の確保

### ①インシデント・医療事故報告システム

平成23年度は、3,240件（前年度比197件減）のインシデント報告、26件（前年度比3件減）の医療事故報告があった。その中の代表的な事例は、医療安全対策委員会で報告された。これに基づき、医療安全対策小委員会において、インシデントについて19事例で改善策及び事故防止策の周知を図った。

### ②院内暴力対策

平成22年度から、院内暴力対応指針の配付や院内暴力対応訓練等により医療現場における対応と周知を図っている。本年度は、平成23年6月に医療現場のチーフリーダーやスタッフを対象に2回目となる「院内暴力発生時の対応訓練」及び「護身術講習会」を実施し、同年12月には石川県警職員の協力のもと、3回目の院内暴力対応訓練を実施した。

### ③患者誤認防止システム

注射処方に関する誤認防止システムは平成22年1月から全病棟で稼働している。輸血に関する病棟の患者誤認防止システムは、平成24年度にプログラム開発が予定されている。

### ④感染対策の強化、充実

院内における感染防止を目的に平成22年度に設置された感染対策チーム（ICT）は、平成23年度も医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、事務職員からなる14名の構成で以下の活動を継続した。

- ・4名の専任者（医師、看護師、薬剤師、検査技師各1名）を中心とした日常的な院内感染対策業務を実施した。
- ・ICT会議（月2回の定例）の開催及び院内感染防止ラウンド（月2回、随時）の実施等により、院内感染に関する様々な事例及び対策に関する協議を行い、対応策を実践した。
- ・ICTの活動結果は、月1回定例で開催される院内感染対策委員会において、薬剤耐性菌の検出状況、抗菌薬の適正使用、感染症の発生状況、その他院内感染関連事項として報告された。

## 3) 患者と医療者のパートナーシップ強化

### ①インフォームド・コンセントの充実と徹底

患者・家族と医療者の相互の信頼関係を確保するため、「患者の権利・臨床倫理検討委員会」が中心となって全職員を対象に、患者中心の医療におけるチーム医療の重要性に関する教育研修会を平成23年10月に実施した。

また、病院機能評価の一環として院内サーベイによる定期的な部署訪問を実施し、ケアプロセスとしてのインフォームド・コンセントの実施、入院診療計画書・退院指導計画書・入院時栄養管理計画書・リハビリテーション総合実施計画書等の適時作成と患者・家族への説明を徹底した。

### ②院内統一基準の見直しと情報共有

診療現場において実用性の高い院内統一基準である「金沢医科大学病院診療管理基準」を部分改訂して、全職員の情報共有を図った。

#### 4) 医療の高度化と質の向上

##### ①先進医療の届け出増加

大学病院として質の高い高度な医療を提供する機能を維持・向上するため先進医療の届出の増加を図った結果、平成24年1月には「パクリタキセル腹腔内反復投与療法」、同年3月には「光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助」の届出が受理され、平成23年度末の届出済み先進医療は6件となった。

##### ②医療安全管理体制の強化推進

診療管理基準、医療安全対策マニュアル、感染症対策マニュアル、災害対策マニュアル等の冊子を院内各部署に常備し、公的機関の指導や現場の診療方針、ガイドラインの変更等に併せて随時内容の一部を改訂した。また、医療相談や暴力行為（モンスター・ペイシエント）に対応するため、経験豊富な専門知識を有した人材を院内に配置し、保安全管理体制を強化した。

##### ③地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

地域がん診療連携拠点病院の責務として、担当エリアの地域中核病院医師等との定期的な合同カンファレンスの開催、医療従事者へのがん診療情報の提供や研修教育を実施した。また、一般市民向けの公開セミナーを開催するなど、地域医療機関とのがん診療連携体制を強化した。

##### ④新生児集中治療センターの充実

新生児集中治療センターの医療機器整備及び施設のリニューアルが完了し、必要な看護師数を配置し運用を開始した。運用実績を積み、平成23年8月に新生児特定集中治療室管理料（NICU6床）の施設基準の届出を行い、受理された。

##### ⑤ドック機能の集約化及び事業の見直し

- ・別館8階での宿泊ドック、7階での外来ドックが運用されているが、平成23年度には7階での入院ドック受け入れ体制を整え、平成23年10月から2床稼働した。また別館8階での宿泊ドックを推進するため、7室の内装改修工事及び全室の家具・電動ベッドの入れ替えなどの環境整備を行った。
- ・特定健診・特定保健指導に対応した検査データの集約、結果の判定、総括・報告書作成のシステムを更新・整備し、医師の報告書作成時間の短縮化と人的省力化を推進した。
- ・早期発見、早期治療、更に生活指導を行うことによって加齢・老化に伴う疾病の予防を目的とする検査機器等を導入し、平成24年度にはエイジングケア外来として診療を開始する予定である。

##### ⑥医療の標準化、効率化

クリニカルパスの保有件数は、平成23年度には167件となり、ほぼ全診療科で保有、実施されるようになった。平成23年度は院内パス大会を1回開催し、医療の効率化と患者負担の軽減、在院日数短縮などエビデンスに基づいた医療の標準化、効率化を図った。

##### ⑦情報開示による医療の質の向上

第5次医療法改正で義務化された患者向け「医療機能情報提供制度」による病院機能情報の開示を継続するとともに、病院ホームページにおいて、臨床指標（クリニカルインジケータ）による診療アウトカムの評価や患者満足度調査の結果などを公開した。

## 5) 地域連携・地域貢献

### ①石川県が策定する「4疾患5事業」への全面的な協力体制の構築

石川県が策定する「新医療計画」における「4疾患5事業」の二次医療圏での展開に全面的な協力体制を構築するため、臨床研修においても研修協力病院を中心に、地域医療機関との地域連携パスの開発（がん、心疾患、股関節、脳卒中、糖尿病等）による連携診療の実施、専任看護師及びソーシャルワーカーを交えた合同カンファレンスの開催など、従来の患者の紹介・逆紹介関係から進化した診療連携関係を構築した。

### ②紹介・逆紹介患者数の状況

平成23年度の新患・初診の紹介患者数は8,780名（前年度8,572名）であり、再診紹介患者を含めると11,893名（前年度11,830名）であった。前年度より、新患・初診の紹介患者数は208名の増加となった。

また、平成23年度の逆紹介患者数は8,103名（前年度8,588名）で、前年度比較では485名の減少となった。

### ③地域医療への貢献

- ・石川県予防医学協会や成人病予防センターが実施する地域住民健診へ継続的に医師を派遣した。
- ・21世紀集学的医療センターにおいて、患者向けに生活習慣病の予防対策を目的とした運動教室を8月までは毎月2回、9月からは毎月3回開催し、毎回20名前後の地域住民が参加した。また生活習慣病センターが中心となり、かなざわ・まち博における「メタボ改善プログラム」の実施や、内灘ロマンチックウォークへの協賛で「健康づくりブース」を出展し、健康測定や健康相談を行った。
- ・遺伝子医療をテーマとし、病院内で医療従事者向けに集学的医療セミナーを開催し、約30名の参加があった。また、緩和ケア委員会が中心となって、薬剤情報などをテーマにオープンカンファレンスを5回開催し、毎回約40名の参加があった。
- ・医療安全、感染防止、医療倫理、接遇対応等の教育研修について、地域医療機関に開催案内を通知した。

### ④遠隔診療への支援と地域医療支援

平成21年度から公立穴水総合病院・地域診療所と連携し、本学病院からのテレコンサル（透析管理支援、がん相談・化学療法支援）による協力体制が構築され、稼働している。

また、氷見市民病院との連携では、病理診断に係るテレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製、術中迅速細胞診の施設基準の届出取得（平成23年11月）を行い、受理された。

### ⑤北陸大学薬学実習生受け入れの支援

平成22年度から北陸大学薬学部の実習生の受け入れが行われている。本年度も引き続き、北陸大学薬学部教員及び事務局、薬剤部をはじめとした院内関係部署と調整・連携を図った。

## 6) 教育研修

### ①初期臨床研修プログラムの策定と円滑な実施

現在研修中の平成22年度研修プログラム（研修医17名）及び平成23年度研修プログラム（研修医16名）を実施した。

平成24年度からの臨床研修プログラムについて、高度医療連携プログラム（定員30名）、地域医療連携プログラム（定員10名）、外科系プログラム（定員8名）、産婦人科専門プログラム（定員2名）、小児科専門プログラム（定員2名）での実施を申請し、厚生労働省に受理された。

### ②初期臨床研修指導医の養成

厚生労働省の臨床研修審査専門官を招聘して、指導医養成のためのワークショップを開催し、25名（うち協力病院9名）の指導医を養成した。

### ③総合的な職員研修プログラムの確立

全職員を対象とした必要性の高い課題に関する教育研修について、医療安全管理体制確保のための医療安全研修会や院内感染防止に関する講習会を各2回開催した。また、個人情報保護、患者の権利、臨床倫理、接遇等に関する教育研修についても講習会を開催した。

職員ワークショップ（宿泊研修）は、問題意識の共有化、医師・看護師、コメディカルによる多職種間における人的交流、モチベーションの向上を図るために効果的な機会であることから、昨年度に引き続き開催した。

## 7) 人材確保と就業環境の改善

### ①看護師募集活動

看護体制確立のため、以下のような人材確保活動を行った。

- ・看護師募集活動として、北陸三県を中心に看護学校訪問（6月）を行ったほか、金沢、大阪、新潟における合同説明会への参加、就職情報サイトへの登録を行い、看護師確保に努めた。また、看護師募集テレビCMを作成し、年末年始にかけ石川県内民放4局に放映した。
- ・本学の看護学部学生を対象に就職説明会（5月）を開催した。
- ・応募者の都合に合わせた院内説明会及び採用試験を随時開催した。
- ・看護師募集パンフレット、看護部ホームページの刷新、医療情報誌への記事を掲載するなど、看護師のイメージ向上に取り組んだ。

### ②臨床研修医の確保

平成24年度研修プログラム応募者の面接試験とマッチングを実施した。臨床研修医マッチング者数は47名（マッチングに不参加者も含む）、研修歯科医マッチング者数は2名であった。国家試験等の結果、平成24年度に本学病院で臨床研修を行う医師は36名、歯科医師は1名となった。

### ③臨床研修合同説明会への参加と研修案内

初期臨床研修医の確保のため、学内説明会、合同セミナーに参加し、名古屋会場、東京会場及び金沢会場にブース展示を行った。また、「明日の石川の医療を担う若手医師の集い（石川県主催）」に当院のブース展示を行うとともに、研修プログラム案内を作成し、在学生とその父母へ配付した。

#### ④後期臨床研修への取り組み

平成23年度の初期臨床研修修了者は、医師17名、歯科医師1名で合計18名であり、引き続き本学病院にて後期研修を行う医師は15名となった。また、大学院へは研修修了者のうち7名が入学した。

#### ⑤医師の業務負担軽減計画の取り組み

事務作業による医師の負担軽減及び患者サービスの向上を目的に、診断書・証明証等文書の所在を明確にし、証明書等の通院歴、病名などカルテから参照できるものはメディカルクラウドが代行入力した。平成24年5月から総合受付にて一元管理する。

#### ⑥就業環境改善の取り組み

看護師離職者防止対策として、平成23年度も引き続き魅力ある職場づくりを推進し、教育体制の充実、資格取得への経済的支援、就業支援など看護業務の改善に取り組み、看護師業務の効率化を図った。

##### ・キャリア形成支援

専門看護師・認定看護師資格取得のための費用の一部を病院が助成する制度を継続し、平成23年度は、3名が本制度を利用し認定看護師の研修を受講した。本学病院には現在、専門看護師2名、認定看護師14名、計16名が在職している。

##### ・看護師紹介報奨制度による人材確保

看護師の採用促進策として、本学病院が求める人材を紹介した職員に対し報奨金を支給する制度により、平成23年度は4件の実績があった。

##### ・看護師を対象とする短時間勤務制度の実施

家庭の事情等により、これまでの勤務体制では就業の継続が困難になった看護師に対し、勤務時間を短縮する制度を本格的にスタートさせた。平成23年度は、24名の看護師が利用した。

##### ・看護師を対象とする夜間保育手当の実施（平成23年8月1日から）

6歳未満の子どもを養育する看護職員が、保育施設等に預けて夜間勤務に従事できるよう、保育料負担軽減を目的とする手当支給の制度を開始した。平成23年度は、38件の利用があった。

### 8) 医療機器の整備

#### ①大型医療機器の整備

大型放射線機器の整備として、直接変換方式FPD搭載型X線TV装置を更新した。

その他の大型医療機器の整備については、中央手術部に手術用顕微鏡1台、成人用人工心肺装置システム1台を更新した。



直接変換方式FPD搭載型X線TV装置

## ②その他の医療機器整備

医療機器の整備として、更新機器43件、追加機器15件、新規機器16件、計71件を整備した。

## ③情報システムの整備

老朽化対策及び医事業務の効率化を目的に、医事会計システムの更新整備、診断書等作成支援システムサーバの更新を行った他、検体検査システム、入院時栄養管理計画オーダーシステム、看護支援システム、手術支援システム（以上、機能拡充）の整備を実施した。

## ④機器設備予算の病院長ヒアリングによる節減対策

大型の高額機器の導入は、特定機能病院として高度な医療レベルを保持するために必要不可欠であるが、経済的効果をより重視するため機器の選定にあたっては、病院長と病院企画室が申請部署及び責任者と綿密なヒアリングを行った。また、大型医療機器に係る保守料については、経費節減のため契約内容及び保守料の見直しを行った。

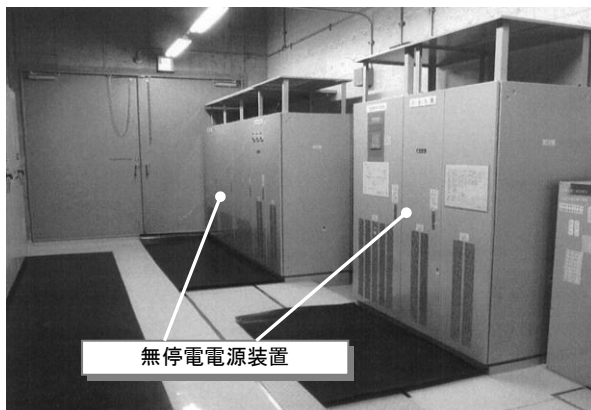
## 9) 施設設備整備

### ①病院本館の再整備計画

グラウンドデザイン基本計画に則り、移行対象部署とのヒアリング等を実施し、第1期計画移行期及び完成時の病院整備の基本案を作成した。

### ②病院施設整備

血液浄化センターにおける緊急時の安全対策として無停電化工事を実施した他、健康管理センター療養環境整備工事、保安環境強化整備工事（病院出入口管理強化対策等）、リハビリテーションセンター環境整備工事、言語聴覚室の増設工事等を行った。



病院新館地階電気室



病院新館5階血液浄化センター

## 10) 収支改善

### ①看護師配置7対1及び特定集中治療室管理加算等の通年確保

- ・特定機能病院入院基本料（7対1看護体制）は、病棟夜勤看護師の不足により平成24年1月から1病棟を休床し、通年で確保した。
- ・集中治療室管理料加算（ハートセンター）は8床で運用しているが、広範囲熱傷特定集中治療管理料の追加届出も行い、継続運用している。
- ・小児科病棟は平成22年8月に小児入院医療管理料3の届出を行い、平成23年3月には小児入院医療管理料2に届出変更を行い、運用している。
- ・平成23年6月に急性期看護補助体制加算、同年9月に新生児特定集中治療室管理料（6床）の施設基準の届出を行い、受理され算定を開始した。
- ・新生児治療回復室入院医療管理料（GCU）の施設基準の届出は看護師不足の問題もあり、平成23年度の届出は行えなかったが、平成24年度に届出を行うよう準備を進めた。

### ②患者誘致対策

PET-CT、リニアック、64列マルチスライスCT、MR-CT等の整備済み新鋭機器を有効に利用するため患者誘致対策として、地域医療連携部が中心となって外部へのPR、電話での検査予約受付などに対応した。

また、院内がん登録、がん相談支援センターの充実、チームによる緩和ケア医療の実施など地域がん診療連携拠点病院としての条件整備を継続して行った。担当エリアの地域中核病院とのがん情報の提供と共有、地域連携パスによる患者交流等により、紹介患者の招致と収入確保に努めた。

### ③21世紀集学的医療センターの充実

集学的がん治療センター、生活習慣病センター、遺伝子医療センター、女性総合医療センターの各センターにおいて、その特色を生かし、更なる質的充実を図るため関連診療科との連携強化を図った。生活習慣病センターにおいては生活習慣病の予防対策として毎月3回の運動教室を開催しているほか、各センターにおいて医療従事者向けに遺伝子医療、緩和医療、がん治療における心の問題などをテーマに研修会・セミナーを開催した。

### ④収支改善に向けた病院長ヒアリングの実施

病院長と各診療科長、医局長とのヒアリングを昨年度に引き続き実施した。ヒアリングでは、各診療科から今年度の状況報告、平成24年度の数値目標の提示、診療実績の向上に向けた協議等を行った。

### ⑤救急患者の受け入れ増加

入院患者の増加を目的に、救急搬送患者は原則受け入れる体制を引き続き周知するとともに、病院部科長会、連絡会等において病院長から各診療科へ協力要請を行った。

### ⑥ベッドコントロールの効率的な運用

平成24年1月から別館4階病棟36床を休床したことに伴い、各診療科の病床配分の見直しを行った。稼働病床数は減少したが、フリーベッドを活用することで病床利用率の向上を図り、収入増加に繋げるとともに、併せて特別病室（新館11階）の利用を促進した。

### ⑦DPCベンチマーク、クリニカルパスによる医療の効率化

DPC 分析は、私立医大協会ベンチマークによる他院とのデータ比較が開始され、既に実用段階に入ったため、他大学病院との分類疾患ごとの相対的経費比較が可能となり、経営分析上の参考資料として有効に活用できるようになった。

### ⑧ジェネリック薬品の選択的採用拡大と診療材料の標準化

ジェネリック薬品の使用については、薬事委員会を中心としてその選択的採用の拡大、検討を進めた。また、診療材料については、医療安全、感染対策、コスト削減の観点から業務改善委員会で規格統一による標準化を進めた。

### ⑨診療関係部門の業務改善と省力化

業務改善検討委員会が中心となり、診療部門の業務改善と診療材料等の経費削減に努めた。省エネ活動については、本学の省エネルギー推進委員会の基本方針に沿って、病院内照明の節電を中心に病院として可能な範囲で取り組んだ。また、医療機器の適切な取り扱いについて院内に周知し、修繕費の節減に努めた。

## 1 1) 組織運営

### ①病院機能の自己点検、評価の取り組み

病院機能評価の認定期間が平成24年1月に満了するため、点検・評価を継続する体制を維持し、各部門並びに各委員会において院内の各種ルールや業務運用の見直し、関連資料の整理等、受審の準備を行った。平成23年11月には更新認定のための訪問審査を受審し、所定の認定基準を達成しているとして平成24年2月3日付で認定証が交付された。

### ②病児保育事業の円滑な運営

内灘町との連携により平成 22 年 3 月からスタートした病児保育事業は、平成 23 年度は利用数が 533 件（前年度より 70 件増加）と順調に伸びた。今後も、小児科医師との連携や受け入れ児童の制限枠についての検討・協議を図り、より安全・安心な病児保育を目指す。

### ③診療科の変更と新設

心血管系病変に対する治療法が進歩している状況を踏まえ、血管性病変に対応する診療領域があることを患者に周知するため、内科系の「心血管カテーテル科」と外科系の「血管外科」を新たに標榜することとなった。これにより平成 23 年 10 月 1 日から、従来の「胸部心臓血管外科」を「心臓外科」並びに「血管外科」とし、「循環器内科」を「循環器内科」と「心血管カテーテル科」と変更した。

## 1 2) 平成23年度経営管理指標の達成状況

平成 23 年度数値目標に対しては、外来患者数の増加、院外処方せん発行率では達成できたが、その他の項目については未達成となった。

なお診療実績は、前年度との比較で 5 億 8,600 万円（3.2%）の増収となった。

平成 23 年度経営管理指標の達成状況

|          |     | H23 年度目標  | H23 年度実績  | 目標達成度         | H22 年度実績  |
|----------|-----|-----------|-----------|---------------|-----------|
| 平均在院日数   | 一 般 | 18.0 日以内  | 18.2 日    | +0.2 日 (未達成)  | 18.3 日    |
|          | 全 体 | 18.5 日以内  | 18.8 日    | +0.3 日 (未達成)  | 18.7 日    |
| 新入院患者数／日 |     | 35.9 人以上  | 34.5 人    | -1.4 人 (未達成)  | 35.0 人    |
| 入院患者数／日  |     | 699.5 人以上 | 685.9 人   | -13.6 人 (未達成) | 690.2 人   |
| 病床稼働率    |     | 85%以上     | 84.2%     | -0.8% (未達成)   | 83.9%     |
| 外来患者数／日  |     | 1,140 人以上 | 1,146.9 人 | +6.9 人 (達 成)  | 1,137.9 人 |
| 新患患者数／日  |     | 27.2 人以上  | 27.0 人    | -0.2 人 (未達成)  | 27.2 人    |
| 患者紹介率    |     | 60%以上     | 56.8%     | -3.2% (未達成)   | 55.1%     |
| 院外処方率    |     | 85%以上     | 87.1%     | +2.1% (達 成)   | 85.3%     |

患者数関連指標の過去 5 年間の推移状況

| 年 度      | 病床数 (床) |     | 患 者 数 (人/1 日平均) |       |       |        | 平均在院<br>日数 (日) |
|----------|---------|-----|-----------------|-------|-------|--------|----------------|
|          | 許可      | 稼働  | 外来患者数           | 新患患者数 | 在院患者数 | 新入院患者数 |                |
| 平成 19 年度 | 932     | 884 | 1,148.6         | 32.1  | 681.8 | 33.8   | 20.1           |
| 平成 20 年度 | 892     | 840 | 1,122.7         | 28.3  | 658.3 | 33.6   | 19.6           |
| 平成 21 年度 | 835     | 823 | 1,127.9         | 28.9  | 657.1 | 34.6   | 19.0           |
| 平成 22 年度 | 835     | 823 | 1,137.9         | 27.2  | 655.3 | 35.0   | 18.7           |
| 平成 23 年度 | 835     | 788 | 1,146.9         | 27.0  | 651.1 | 34.5   | 18.8           |

診療実績関連指標の過去 5 年間の推移状況

| 年 度      | 診 療 実 績       |               |              |             |             |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------------|-------------|
|          | 入院収入<br>(百万円) | 外来収入<br>(百万円) | 合 計<br>(百万円) | 入院単価<br>(円) | 外来単価<br>(円) |
| 平成 19 年度 | 12,908        | 4,085         | 16,993       | 49,276      | 12,180      |
| 平成 20 年度 | 12,830        | 4,185         | 17,015       | 50,801      | 12,808      |
| 平成 21 年度 | 13,043        | 4,479         | 17,522       | 51,662      | 13,646      |
| 平成 22 年度 | 13,658        | 4,628         | 18,286       | 54,219      | 13,880      |
| 平成 23 年度 | 14,162        | 4,710         | 18,872       | 56,410      | 14,016      |

大型機器の利用実績

|                           | H23 年度実績 | H22 年度実績 | 対前年度増減 | 当 初 計 画 ／ 年 |
|---------------------------|----------|----------|--------|-------------|
| 放射線治療システム Varian          | 453 人    | 466 人    | -13 人  | 288 人       |
| PET-CT システム               | 2,028 人  | 1,759 人  | 269 人  | 1,440 人     |
| FPD 搭載型 X 線 TV 装置         | 3,024 件  | 3,087 件  | -63 件  | 1,928 件     |
| 密封小線源治療装置                 | 34 人     | 25 人     | 9 人    | 30 人        |
| X 線 CT 装置 (64 列)          | 14,986 件 | 14,449 件 | 537 件  | 9,984 件     |
| X 線 CT 装置 (2 管球式)         | 12,689 件 | 12,049 件 | 640 件  | 11,369 件    |
| IVR-CT／アンギオシステム           | 1,377 件  | 1,755 件  | -378 件 | 545 件       |
| 心血管撮影装置 AXIOM             | 2,535 件  | 2,533 件  | 2 件    | 900 件       |
| MRI 装置 MAGNETOM3.0T       | 7,625 件  | 7,064 件  | 561 件  | 3,485 件     |
| MRI 装置 MAGNETOM1.5T       | 7,502 件  | 6,794 件  | 708 件  | 3,700 件     |
| MRI 装置 MAGNETOM1.5T       | 3,123 件  | 3,256 件  | -133 件 | —           |
| フルデジタル乳房撮影装置              | 2,466 件  | —        | —      | 1,389 件     |
| 心臓電気生理学的検査 3 次元<br>画像システム | 80 件     | —        | —      | 30 件        |

## 手術実績

(単位:件)

| 診療科名        | 平成 23 年度 | 平成 22 年度 | 増 減   |
|-------------|----------|----------|-------|
| 形成外科        | 743      | 671      | +72   |
| 小児外科        | 269      | 296      | -27   |
| 胸部心臓血管外科    | 349      | 318      | +31   |
| 脳神経外科       | 216      | 222      | -6    |
| 泌尿器科        | 212      | 226      | -14   |
| 耳鼻咽喉科       | 308      | 312      | -4    |
| 一般・消化器外科    | 708      | 634      | +74   |
| 整形外科        | 807      | 891      | -84   |
| 産科婦人科       | 219      | 231      | -12   |
| 眼科          | 1,713    | 1,671    | +42   |
| 呼吸器外科       | 117      | 99       | +18   |
| 歯科口腔科       | 29       | 24       | +5    |
| 麻酔科         | 34       | 31       | +3    |
| 血液・リウマチ膠原病科 | 6        | 8        | -2    |
| 救命救急科       | 0        | 1        | -1    |
| 皮膚科         | 6        | 3        | +3    |
| 循環器内科       | 408      | 371      | +37   |
| 消化器内科       | 1        | 2        | -1    |
| 呼吸器内科       | 0        | 3        | -3    |
| 神経科精神科      | 39       | 8        | +31   |
| 小児科         | 1        | 0        | +1    |
| 内視鏡科        | 21       | 24       | -3    |
| 合 計         | 6,206    | 6,046    | +160  |
| うち全麻件数      | 3,234    | 3,234    | 0     |
| 全麻率         | 52.1%    | 53.5%    | -1.4% |

※循環器内科以外は、中央手術部における手術件数。循環器内科は、心臓血管内カテーテル治療の件数。

## 4. 金沢医科大学氷見市民病院

## 1) 新病院移転に関する事業

新病院は平成 23 年 5 月 31 日に竣工、同年 9 月 1 日に開院し、新病院開院記念事業が下記のとおり実施された。

**竣工式** (関係者 270 名)

日時：平成 23 年 8 月 20 日 (土) 10:30～

場所：金沢医科大学氷見市民病院 6 階 多目的ホール

**祝賀会** (関係者 580 名)

日時：平成 23 年 8 月 20 日 (土) 12:00～

場所：金沢医科大学氷見市民病院 1 階 エントランスホール

**一般内覧会** (一般来場者 2,300 名)

日時：平成 23 年 8 月 21 日 (日) 10:00～16:00

場所：金沢医科大学氷見市民病院

#### 新病院開院を祝う会（病院職員 161 名）

日時：平成 23 年 9 月 16 日（金）19：00～21：30

場所：ホテルニューオータニ高岡

#### 第一回新病院開院記念講演会（職員・一般 250 名）

日時：平成 23 年 10 月 22 日（土）14：00～16：30

場所：いきいき元気館 3 階ホール

演題：「負けねっすよ釜石」

講師：前釜石市副市長 佐々木 重雄氏

#### 第二回新病院開院記念講演会（職員・一般 100 名）

日時：平成 24 年 1 月 28 日（土）14：00～16：00

場所：金沢医科大学氷見市民病院 6 階 多目的ホール

演題：「2 年続けて南極観測隊に参加して」

講師：北陸ミサワホーム株式会社 坂下 大輔氏



移転開院した金沢医科大学氷見市民病院

## 2）診療実績の状況

### ①医療収入

平成 23 年度の医療収入は 45 億 8,300 万円となり、前年度より 4 億 1,300 万円（+9.8%）の増加となったが、当初目標に対しては 2,300 万円の減少となった。入院の医療収入は 28 億 2,700 万円で、前年度より 3 億 2,100 万円（+12.8%）の増加となった。外来の医療収入は 17 億 5,600 万円で、前年度より 9,100 万円（+5.5%）の増加となった。収入増加の要因は、新病院オープンに伴う入院患者の増加や療養環境加算等の施設基準取得による点数の増加によるものである。

### ②患者数

入院の 1 日平均患者数は 177 名となり、前年度より 15 名の増加となった。外来の 1 日平均患者数は 512 名となり、前年度より 14 名の増加となった。新入院患者数は、3,038 名となり前年度より 95 名の増加となった。1 日あたりの新入院患者は 10 人で、前年度より 1.9 人の増加となった。

### ③診療単価

入院診療単価は 43,608 円となり、前年度より 1,234 円（+2.9%）の増加となった。外来診療単価は 11,903 円となり、前年度より 555 円（+4.8%）の増加となった。

### ④平均在院日数

平均在院日数は 20.4 日となり、前年度より 1.4 日長くなったが、平成 24 年 1 月から稼働した回復期リハビリテーション病床を除くと 19.9 日となる。在院日数長期化の要因は、7 月～10 月にかけて新病院への移転に伴い入退院が抑えられたことによる。

### ⑤手術実績

年間手術件数は下表のとおり 931 件となり、前年度より 40 件（+4.5%）増加した。全身麻酔の件数は 501 件となり、前年度より 51 件（+11.3%）増加となった。

手術実績 (単位：件)

| 診療科名    |          | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 外科      | 一般・消化器外科 | 257      | 272      | 263      | 264      |
|         | 胸部心臓血管外科 | 90       | 86       | 80       | 91       |
| 麻酔科     |          | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 形成外科    |          | 85       | 26       | 14       | 10       |
| 整形外科    |          | 285      | 288      | 248      | 249      |
| 脳神経外科   |          | 18       | 38       | 43       | 40       |
| 泌尿器科    |          | 0        | 3        | 2        | 24       |
| 産婦人科    |          | 0        | 13       | 27       | 21       |
| 眼科      |          | 395      | 419      | 138      | 161      |
| 耳鼻いんこう科 |          | 0        | 6        | 5        | 15       |
| 歯科口腔外科  |          | 24       | 11       | 18       | 21       |
| 皮膚科     |          | 0        | 29       | 39       | 18       |
| 循環器内科   |          | 0        | 9        | 13       | 13       |
| 総合診療科   |          | 0        | 0        | 1        | 4        |
| 合計      |          | 1,154    | 1,200    | 891      | 931      |
| 手術件数／月  |          | 96.2     | 100      | 74.3     | 77.6     |
| うち全麻件数  |          | 439      | 423      | 450      | 501      |
| 全麻率     |          | 38.0%    | 35.3%    | 50.5%    | 53.8%    |

※循環器内科以外は、手術部における手術件数。循環器内科は、心臓血管内カテーテル治療の件数を含む。

## 3) 職員の採用状況

### ①常勤医師の確保

平成 23 年度は呼吸器内科 1 名、麻酔科 2 名、健康管理センター 1 名、循環器内科 2 名、耳鼻いんこう科 1 名、消化器内科 1 名、放射線科 1 名の計 9 名の医師が採用されたが、4

名が退職し、計5名の増員となった。これにより、救急患者の受け入れ体制が強化され、市内の救急搬送患者も90%以上を受け入れることが可能となる。

## ②臨床研修医の確保

平成23年度は初期臨床研修医の年度募集定員が4名から6名に増員され募集した結果、1年目研修医には4名の応募があり採用された。これにより平成23年度初期臨床研修医は、1年目4名、2年目3名の計7名（中途退職者2名）となった。平成24年4月には初期臨床研修医数は1年目4名、2年目4名の計8名となる。

## ③看護師の確保

平成23年度は新病院の稼動に伴う回復期リハビリテーション病棟の設置と7対1看護施設基準取得のため、42名の看護師の採用を目指したが、33名の増員に止まった。平成23年度の1年間では15名の増員となっており、平成24年度は7対1看護施設基準申請の予定である。

## 4) 診療体制の整備

### ①回復期リハビリテーション病棟の開設

新病院での回復期リハビリテーション病棟49床の開設にあたって、理学療法士・作業療法士等17名、看護師等23名の増員を行い、平成24年1月から365日リハビリ体制の運用を開始した。当面は30名の患者受け入れを目標とし、患者1人1日あたり最高9単位（1単位20分）までのリハビリを行う体制を整備した。その結果、1月～3月までの3カ月実績では、患者1人1日あたりの平均実施単位数は7.58単位であった。また、1日平均患者数は23.8人（病床利用率48.6%）、診療単価は35,176円、収入実績は7,636万円（1カ月平均2,545万円）であった。

### ②健康管理センターの稼動

平成23年4月から専任医師の配置の下、健康管理センターが本格的に稼動し、新病院では外来部門に専用フロアが整備された。平成23年度の実績は人間ドック、企業健診、がん検診、特定健診等の総件数は5,465件、実績額は3,400万円（対前年比114%）となった。更に、次年度の実績増を目的とした政管健保の健診施設基準の取得、一般企業の企業健診及び人間ドック契約の締結等を実施した。

### ③時間外救急体制の充実

時間外救急患者の延数は5,822名となり、前年度とほぼ同数となった。このうち、救急車搬送の患者数は797名となり前年度より15名減少（-1.8%）、入院患者数も609名となり前年度より79名の減少（-11.4%）となった。

#### 救急患者の受け入れ状況

| 年度     | 救急患者<br>延数 | 1日当り  | うち救急車<br>搬送患者 | 1日当り | うち入院<br>患者数 | 入院率   |
|--------|------------|-------|---------------|------|-------------|-------|
| 平成21年度 | 5,931人     | 16.2人 | 704人          | 1.9人 | 648人        | 10.9% |
| 平成22年度 | 5,821人     | 15.9人 | 812人          | 2.2人 | 688人        | 11.8% |
| 平成23年度 | 5,822人     | 15.9人 | 797人          | 2.2人 | 609人        | 10.5% |

#### ④電子カルテの稼働

新病院の稼働に伴い、外来・入院診療など病院の診療全体に電子カルテが導入された。これにより、ひとりの患者の全病歴を1ファイルの電子カルテに収納し、生涯にわたって中央管理する統合システムとなった。診療担当医は、他の診療科での検査結果、診断所見、治療内容、投薬状況などを確認することができ、患者への重複した検査・投薬の防止等医療の安全性と診療効率の向上に繋げることが可能となった。

#### ⑤教育・研修体制の強化

新病院の稼働により、研修医室の教育環境の整備が行われた。また、研修医の指導体制も強化され、臨床研修委員会を中心に初期臨床研修医の研修プログラムの作成等が行われた。新人看護師の教育体制に関しては、新病院内に新人看護師支援室を設置し、専従の看護師長を配置して新人看護師の教育支援体制を強化した。

#### ⑥地域連携体制の推進

地域医療連携室を中心とした、患者紹介・逆紹介、紹介患者にかかる返書の徹底等地域医療連携を積極的に実施し、患者紹介率は平成22年度の19.7%から平成23年度は22.7%に上昇した。しかし、逆紹介率は13%から11.8%に減少した。今後はさらに地域医師会、医療機関との医療連携を進めるため、地域医療連携業務の充実と診療機能情報誌の発行を計画している。

### 5) 医療機器等の整備

大学購入分は、新病院移転に伴い351件で1億1,900万円となった。また、氷見市民病院の管理運営に関する基本協定第31条の指定管理者負担金に該当する氷見市購入分の医療機器は、28件で10億9,800万円となった。

#### 医療機器の稼働実績

##### <平成20年度整備機器>

| 部署      | 品名              | 数量 | 稼働実績(件) |
|---------|-----------------|----|---------|
| 内分泌代謝科  | 体成分分析装置         | 1  | 15      |
| 眼科      | 3次元眼底像撮影装置      | 1  | 626     |
| 中央臨床検査部 | 自動グリコヘモグロビン分析装置 | 1  | 17,899  |

##### <平成21年度整備機器>

| 部署       | 品名          | 数量 | 稼働実績(件) |
|----------|-------------|----|---------|
| 一般・消化器外科 | 超音波診断装置     | 1  | 261     |
| 皮膚科      | 赤外線照射装置     | 1  | 288     |
|          | 近赤外線治療装置    | 1  | 196     |
| 眼科       | 眼内レーザー光凝固装置 | 1  | 28      |

＜平成 22 年度整備機器＞

| 部署                | 品名          | 数量 | 稼働実績（件） |
|-------------------|-------------|----|---------|
| 手術部<br>（胸部心臓血管外科） | 自己血回収装置     | 1  | 29      |
|                   | 人工心肺装置      | 1  | 17      |
|                   | 補助循環装置      | 1  | 0       |
| 中央臨床検査部           | 全自動輸血検査システム | 1  | 2, 626  |
|                   | 血液ガス分析装     | 1  | 1, 870  |

＜平成 23 年度整備機器＞

| 部署      | 品名            | 数量 | 稼働実績（件）  |
|---------|---------------|----|----------|
| 中央放射線部  | CT スキャナー装置    | 1  | 5, 213   |
|         | 血管撮影装置        | 1  | 202      |
|         | X 線一般撮影装置     | 2  | 18, 139  |
| 中央臨床検査部 | 生化学自動分析装置     | 1  | 452, 887 |
| 内視鏡センター | 電子内視鏡システム     | 1  | 500      |
|         | 高周波手術器 V1300D | 1  | 30       |

## 6）経営指標

平成 23 年度の経営指標は次のとおり。

### 平成 23 年度経営管理指標の達成状況

| 指標           |         | 平成 23 年度<br>（実績）    | 平成 23 年度<br>（目標） | 目標差     | 平成 22 年度 |
|--------------|---------|---------------------|------------------|---------|----------|
| 許可病床数<br>（床） | 4 月～8 月 | 368                 | 368              | —       | 368      |
|              | 9 月～3 月 | 250                 | 250              | —       |          |
| 稼働病床数<br>（床） | 4 月～8 月 | 216                 | 216              | —       | 216      |
|              | 9 月～3 月 | 250                 | 250              | —       |          |
| 平均在院日数（日／人）  |         | 20. 4<br>（回復期リハを含む） | 18. 0            | +2. 4   | 19. 0    |
| 新入院患者数（人／日）  |         | 10. 0               | 8. 5             | +1. 5   | 8. 1     |
| 入院患者数（人／日）   |         | 177                 | 190              | -13     | 162      |
| 外来患者数（人／日）   |         | 512                 | 510              | +2      | 498      |
| 入院診療単価（円）    |         | 43, 608             | 44, 630          | -1, 022 | 42, 374  |
| 外来診療単価（円）    |         | 11, 903             | 11, 700          | +203    | 11, 348  |
| 実績額（百万円）     |         | 4, 583              | 4, 606           | -23     | 4, 170   |

平成 23 年度は、9 月 1 日からの新病院オープンに伴い、4 月～8 月と 9 月～3 月とでは許可病床数、稼働病床数がともに変更となっている。許可病床数は 368 床から 250 床に、稼働病床数は 216 床から 250 床となっている。病床数 250 床の内訳は一般病床数 201 床（結核病床 5 床を含む）、回復期リハビリテーション病床 49 床となっている。

## 7) 職員数

職員数の推移は次のとおり。

(単位：人)

| 職種名        | 平成 23 年 4 月 1 日現在 |     |     | 平成 24 年 4 月 1 日現在 |     |     |
|------------|-------------------|-----|-----|-------------------|-----|-----|
|            | 常勤                | パート | 計   | 常勤                | パート | 計   |
| 医師         | 33                | 66  | 99  | 38                | 63  | 101 |
| 歯科医師       | 1                 |     | 1   | 1                 |     | 1   |
| 臨床研修医      | 6                 |     | 6   | 8                 |     | 8   |
| 薬剤師        | 9                 |     | 9   | 10                |     | 10  |
| 助産師        | 3                 |     | 3   | 3                 |     | 3   |
| 看護師        | 161               | 17  | 178 | 176               | 18  | 194 |
| 准看護師       | 22                | 3   | 25  | 20                | 3   | 23  |
| 補助員        | 24                | 2   | 26  | 33                | 3   | 36  |
| 栄養士        | 0                 |     | 0   | 0                 |     | 0   |
| 管理栄養士      | 3                 | 1   | 4   | 3                 | 1   | 4   |
| 放射線技師      | 11                |     | 11  | 12                |     | 12  |
| 理学療法士 (PT) | 25                |     | 25  | 23                |     | 23  |
| 作業療法士 (OT) | 9                 |     | 9   | 10                |     | 10  |
| 臨床工学技士     | 3                 |     | 3   | 6                 |     | 6   |
| 言語聴覚士      | 2                 |     | 2   | 3                 |     | 3   |
| 視能訓練士      | 1                 |     | 1   | 1                 |     | 1   |
| 歯科衛生士      | 3                 |     | 3   | 2                 |     | 2   |
| 臨床検査技師     | 14                | 1   | 15  | 14                | 1   | 15  |
| その他の技術員    | 4                 |     | 4   | 5                 |     | 5   |
| ソーシャルワーカー  | 2                 |     | 2   | 2                 |     | 2   |
| 技能員        | 2                 | 1   | 3   | 1                 |     | 1   |
| 事務職        | 33                | 1   | 34  | 34                | 4   | 38  |
| 合計         | 371               | 92  | 463 | 405               | 93  | 498 |

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 平成 23 年度決算の概要

平成 23 年度は、創立 40 周年記念事業の一環として臨床教育研修センター建設工事に着手した。

また、医学部及び看護学部の国家試験強化対策事業を推進し、更に、若手医師及び本学卒業生の研究活性化を目的とする特別研究推進事業を実施した。看護学部では、学生確保のため老朽化した旧看護専門学校施設を改修した。

病院部門では、前年度から引き続き看護師の募集活動や就業環境改善及び老朽化施設の更新などを行った。

収入面では、医療収入で過去最高となる 188 億円を確保し、創立 40 周年記念事業に係る寄付金などで増収になったことにより、帰属収入合計は前年比 9 億 1 千 9 百万円増の 266 億円となった。

支出面では、医療スタッフの拡充、老朽化施設設備の更新、原油価格の高騰などにより人件費及び経費が増加しており、消費支出合計は前年度を 5 億 8 千万円上回る 259 億 7 千 8 百万円となった。この結果、帰属収入から消費支出を差引いた収支差額は 6 億 2 千 2 百万円の収入超過という結果になった。

##### 1) 消費収支計算書（表 1 参照）

###### 《帰属収入の部》

###### 学生生徒等納付金

平成 22 年度決算に対し（以下、前年比という。）6 千 4 百万円減の 49 億円となった。学生数は、医学部生 670 名（前年比 7 名減）、大学院生 84 名（同 3 名減）、看護学部生 256 名（同増減なし）の合計 1,010 名（同 10 名減）。

###### 手数料

平成 24 年度医学部入学志願者は過去最多の 2,754 名となり、看護学部の入学志願者は 246 名で、これらの入学検定料ほかで、1 億 7 千万円となった。

###### 寄付金

寄付金総額は、前年比 2 億 5 百万円増の 8 億 3 千 6 百万円となった。特別寄付金のうち 1 億 8 千 8 百万円が創立 40 周年記念事業に係るもの。

###### 補助金

補助金総額は、前年比 1 億 6 千 9 百万円増の 13 億 1 千 7 百万円となった。

うち、私立大学等経常費補助金は 2 億 3 千 2 百万円増の 11 億 7 千 8 百万円、文部科学省研究装置設備補助金は 1 千 1 百万円となった。

経常費補助金が増加しているのは、看護学部が今年度から補助対象となったこと及び医学部の収容定員に対する在学生の割合が改善（留年生の減少）したため。看護学部の補助金は約 1 億円だった。

###### 資産運用収入

資産運用収入は、受取利息・配当金が 3 千 6 百万円、施設設備利用料が 9 千 9 百万円の合計 1 億 3 千 5 百万円となった。

###### 医療収入

医療収入総額は、前年比 5 億 4 千万円増の 188 億 1 千 1 百万円となった。

入院収入は、病床利用率が 84.2%と 0.3 ポイント増加し、診療単価が 4.0%増加したことなどにより、前年比 4 億 5 千 9 百万円増の 141 億 1 千 1 百万円となった。

外来収入は、外来延患者数が 0.8%増加し、診療単価が 1.0%増加したことなどにより、前年比 8 千 1 百万円増の 47 億円となった。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は 70.7%（前年度 71.1%）。

以上により、平成 23 年度の帰属収入の部合計は、前年比 9 億 1 千 9 百万円増の 266 億円となった。

## 《消費支出の部》

### 人件費

人件費総額は、前年比 8 千 4 百万円増となる 122 億 3 千 4 百万円となった。

うち、教員人件費は、7 千 8 百万円増の 37 億 6 千 6 百万円、職員人件費は看護師などの医療スタッフ増員により、1 億 3 百万円増の 77 億 3 千 4 百万円、役員報酬は 5 百万円増の 9 千 3 百万円となった。

また、退職給与引当金繰入額及び退職金は、定年退職者が前年より少なかったことから、1 億 2 百万円減の 6 億 4 千 1 百万円となっている。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は 46.0%（前年度 47.3%）。

### 教育研究経費

医学部及び看護学部为国家試験強化対策事業の拡充、若手医師及び本学卒業生の研究活性化を目的とする特別研究推進事業の実施、総務省・経済産業省等からの受託研究の増加、光熱水費及び機器施設修繕費等の増加により前年比 1 億 3 百万円増の 17 億 3 百万円となった。

### 医療経費

前年比 3 億 1 千 1 百万円増の 87 億 7 千 3 百万円となった。医療収入の増収に伴い、薬品費が 9 千 8 百万円の増、医療材料費が 1 億 2 千 8 百万円の増となった。その他の医療経費で 1 億 3 百万円増加しているのは、医事会計システム更新に係るソフトウェア開発費によるもの。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は 46.7%（前年度 46.3%）、帰属収入に占める割合は 33.0%（同 33.0%）。

### 管理経費

前年比 1 億 4 百万円増の 5 億 8 千 3 百万円となった。増加の要因は、内灘はまなす保育園整備事業及び財団法人橘勝会への支援金、医療事故の解決金などによるもの。

### 減価償却額及び資産処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比 2 千 2 百万円減の 26 億 8 千 4 百万円となった。

以上により、平成 23 年度の消費支出の部合計は、前年比 5 億 8 千万円増の 259 億 7 千 8 百万円となった。

この結果、帰属収入の部合計 266 億円から、消費支出の部の合計 259 億 7 千 8 百万円を差引いた収支差額は、前年比 3 億 3 千 9 百万円増となる 6 億 2 千 2 百万円の収入超過となった。

なお、有価証券評価差額は、今年度はなかった。

## 2) 資金収支計算書（表2参照）

### 《資金収入の部》

#### 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から10億円を借入れした。

また、教育振興資金（学校債）を募集し、3億8千5百万円の資金調達を行った。

#### 前受金収入

平成24年度学生生徒納付金等の前受金は、前年比3億1千万円減の27億9千4百万円となった。なお、医学部学納金の前後期分割納入は5年目になる。

#### その他の収入

前期末未収入金の増加などで前年比2億5千万円増の38億7百万円となった。

### 《資金支出の部》

#### 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金10億円を返済した。

また、学校債については、定期償還及び繰上償還等で5億2千5百万円を返済した。

#### 施設関係支出

血液浄化センター無停電化工事に7千7百万円、臨床研究棟エレベータリニューアル工事に3千1百万円、臨床教育研修センター建設工事の着手金等1億9千3百万円（うち、補助金交付額3千2百万円）ほかで、合計4億8千6百万円を支出した。

#### 設備関係支出

人工心肺装置6千2百万円、X線テレビ装置5千2百万円、手術顕微鏡4千2百万円、医事会計システム3千3百万円、全自動細胞解析装置フローサイトメータ2千2百万円（うち、補助金交付額1千1百万円）ほかで、合計6億2千4百万円を支出した。

#### 資産運用支出

氷見まちづくり株式会社の普通株式1,000株5千万円を計画どおり購入した。

また、金沢医科大学氷見市民病院への元入金として3億3千2百万円を繰り入れた。

#### その他の支出

その他の支出には、医学部奨学事業貸付金9千9百万円及び看護学部奨学事業貸付金1億2百万円が含まれている。

以上の資金収支計算の結果、平成23年度の次年度繰越支払資金（手持運転資金）は前年比11億9千8百万円増となる54億2千1百万円となった。

### 3) 貸借対照表 (表 3 参照)

#### 《資産の部》

資産総額は、前年比 2 億 7 千 3 百万円増の 540 億 8 千 6 百万円となった。

これは、建物ほかの減価償却による減少額に対して流動資産や氷見市民病院への元入金等の増加額が上回ったことによるもの。

#### 固定資産

固定資産は、前年比 10 億 3 千 1 百万円減の 450 億 1 千 9 百万円となった。

建物及び構築物が 13 億 5 千 9 百万円減少しているのは、除却額及び減価償却額が取得額を上回ったため。

教育研究用機器備品が 3 億 6 千 1 百万円減少しているのは、除却額及び減価償却額が取得額を上回ったため。

建設仮勘定が 1 億 9 千 3 百万円増加しているのは、臨床教育研修センター建設工事の着手金を支払ったため。

有価証券が 5 千万円増加しているのは、氷見まちづくり株式会社の株式を購入したため。

金沢医科大学氷見市民病院への収益事業元入金は、3 億 3 千 2 百万円を繰り入れた。

長期貸付金は医学部生及び看護学部生への奨学金の貸与で、5 億 7 千 9 百万円となった。

退職給与引当特定資産等の特定資産は、新規の積立てを行わなかった。

#### 流動資産

流動資産は、前年比 13 億 4 百万円増の 90 億 6 千 7 百万円となった。

うち、現金預金は前年比 11 億 9 千 8 百万円増の 54 億 2 千 1 百万円。

また、未収入金が 7 千 1 百万円増加しているのは、増収に伴う医療未収入金の増加によるもの。

#### 《負債の部》

負債総額は、前年比 3 億 4 千 9 百万円減の 172 億 1 千 9 百万円となった。

#### 固定負債

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比 1 億 1 千 7 百万円増の 76 億 8 千 3 百万円となった。

#### 流動負債

前受金が減少したのは、学納金の前後期分割納入制度の進行によるもの。

#### 《正味財産の部》

正味財産（純資産）は、前年比 6 億 2 千 2 百万円増の 368 億 6 千 7 百万円となった。この増加額は、消費収支計算書（表 1）の差引消費収支差額に一致する。

資産総額に対する正味財産の割合は 68.2%となり、前年度より 0.8 ポイント増加した。

(表 1) 消費収支計算書

| (▼は比較上の減少を表す) (単位:百万円) |               |               |            |               |            |                 |
|------------------------|---------------|---------------|------------|---------------|------------|-----------------|
| 帰属収入の部                 | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 差 異<br>①－② | ③ 23年度<br>予 算 | 差 異<br>①－③ | 23年度決算<br>帰属収入比 |
| 学生生徒等納付金               | 4,900         | 4,964         | ▼64        | 4,892         | 8          | 18.4%           |
| 手数料                    | 170           | 159           | 11         | 167           | 3          |                 |
| 寄付金                    | 836           | 631           | 205        | 710           | 126        | 3.1%            |
| 特別寄付金(寄附講座等)           | 218           | 51            | 167        | 200           | 18         |                 |
| 一般寄付金入学時               | 211           | 197           | 14         | 200           | 11         |                 |
| 一般寄付金その他               | 372           | 372           | 0          | 300           | 72         |                 |
| 現物寄付金                  | 35            | 11            | 24         | 10            | 25         |                 |
| 補助金                    | 1,317         | 1,148         | 169        | 1,139         | 178        | 5.0%            |
| 経常費補助金                 | 1,178         | 946           | 232        | 1,000         | 178        |                 |
| 文科省設備補助金               | 11            | 41            | ▼30        | 30            | ▼19        |                 |
| 臨床研修費補助金               | 37            | 52            | ▼15        | 57            | ▼20        |                 |
| その他の補助金                | 91            | 109           | ▼18        | 52            | 39         |                 |
| 資産運用収入                 | 135           | 150           | ▼15        | 160           | ▼25        | 0.5%            |
| 受取利息配当金                | 36            | 53            | ▼17        | 40            | ▼4         |                 |
| 施設設備利用料                | 99            | 97            | 2          | 120           | ▼21        |                 |
| 事業収入                   | 298           | 258           | 40         | 257           | 41         |                 |
| 医療収入                   | 18,811        | 18,271        | 540        | 18,512        | 299        | 70.7%           |
| 入院収入                   | 14,111        | 13,652        | 459        | 13,902        | 209        | (22決算比          |
| 外来収入                   | 4,700         | 4,619         | 81         | 4,610         | 90         | 2.9%増)          |
| 雑収入                    | 133           | 100           | 33         | 60            | 73         |                 |
| 帰属収入の部合計               | 26,600        | 25,681        | 919        | 25,897        | 703        | 100.0%          |
| 消費支出の部                 | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 差 異<br>①－② | ③ 23年度<br>予 算 | 差 異<br>①－③ | 23年度決算<br>帰属収入比 |
| 人件費                    | 12,234        | 12,150        | 84         | 12,180        | 54         | 46.0%           |
| 教員人件費                  | 3,766         | 3,688         | 78         | 3,746         | 20         | (22年度決          |
| 職員人件費                  | 7,734         | 7,631         | 103        | 7,610         | 124        | 算 47.3%)        |
| 役員報酬                   | 93            | 88            | 5          | 80            | 13         |                 |
| 退職給与引当金繰入額<br>及び退職金    | 641           | 743           | ▼102       | 744           | ▼103       |                 |
| 教育研究経費                 | 1,703         | 1,600         | 103        | 1,537         | 166        | 6.4%            |
| 医療経費                   | 8,773         | 8,462         | 311        | 8,759         | 14         | 33.0%           |
| 薬品費                    | 3,555         | 3,457         | 98         | 3,506         | 49         | (I123 医療収       |
| 医療材料費                  | 2,548         | 2,420         | 128        | 2,518         | 30         | 入比 46.7%)       |
| 給食材料費                  | 222           | 240           | ▼18        | 241           | ▼19        | (H22 医療収        |
| 医療検査費                  | 131           | 131           | 0          | 136           | ▼5         | 入比 46.3%)       |
| その他の医療経費               | 2,317         | 2,214         | 103        | 2,358         | ▼41        |                 |
| 管理経費                   | 583           | 479           | 104        | 535           | 48         | 2.2%            |
| 借入金等利息                 | 1             | 1             | 0          | 5             | ▼4         |                 |
| 減価償却・資産処分差額            | 2,684         | 2,706         | ▼22        | 2,732         | ▼48        | 10.1%           |
| 予備費                    | 0             | 0             | 0          | 50            | ▼50        |                 |
| 消費支出の部合計               | 25,978        | 25,398        | 580        | 25,798        | 180        | 97.7%           |
| 収支差額                   | 622           | 283           | 339        | 99            | 523        | 2.3%            |
| 有価証券評価差額               | 0             | 1,393         | ▼1,393     | 0             | 0          |                 |
| 差引消費収支差額               | 622           | △1,110        | 1,732      | 99            | 523        |                 |

(表 2) 資金収支計算書

(単位:百万円)

| 資金収入の部    | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 差 異<br>①－② | ③ 23年度<br>予 算 | 差 異<br>①－③ |
|-----------|---------------|---------------|------------|---------------|------------|
| 資金を伴う帰属収入 | 26,564        | 25,668        | 896        | 25,887        | 677        |
| 帰属収入の部合計  | 26,600        | 25,681        | 919        | 25,897        | 703        |
| 非資金収入除外   | △36           | △13           | ▼23        | △10           | ▼26        |
| 資産売却収入    | 0             | 0             | 0          | 0             | 0          |
| 借入金等収入    | 1,385         | 1,404         | ▼19        | 1,350         | 35         |
| 短期借入金収入   | 1,000         | 1,000         | 0          | 1,000         | 0          |
| 学校債収入     | 385           | 404           | ▼19        | 350           | 35         |
| 前受金収入     | 2,794         | 3,104         | ▼310       | 2,750         | 44         |
| その他の収入    | 3,807         | 3,557         | 250        | 3,679         | 128        |
| 資金収入調整勘定  | △6,564        | △6,875        | 311        | △6,104        | ▼460       |
| 期末未収入金    | △3,460        | △3,384        | ▼76        | △3,000        | ▼460       |
| 前期末前受金    | △3,104        | △3,491        | 387        | △3,104        | 0          |
| 資金収入の部合計  | 27,986        | 26,858        | 1,128      | 27,562        | 424        |
| 資金支出の部    | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 差 異<br>①－② | ③ 23年度<br>予 算 | 差 異<br>①－③ |
| 資金を伴う消費支出 | 23,176        | 22,730        | 446        | 23,066        | 110        |
| 消費支出の部合計  | 25,978        | 25,398        | 580        | 25,798        | 180        |
| 非資金支出除外   | △2,802        | △2,668        | ▼134       | △2,732        | ▼70        |
| 借入金等返済支出  | 1,525         | 1,482         | 43         | 1,400         | 125        |
| 借入金返済支出   | 1,000         | 1,000         | 0          | 1,000         | 0          |
| 学校債返済支出   | 525           | 482           | 43         | 400           | 125        |
| 施設関係支出    | 486           | 853           | ▼367       | 641           | ▼155       |
| 設備関係支出    | 624           | 734           | ▼110       | 692           | ▼68        |
| 資産運用支出    | 382           | 741           | ▼359       | 375           | 7          |
| その他の支出    | 3,209         | 2,899         | 310        | 3,231         | ▼22        |
| 資金支出調整勘定  | △2,614        | △2,676        | 62         | △2,500        | ▼114       |
| 期末未払金     | △2,613        | △2,655        | 42         | △2,500        | ▼113       |
| 前期末前払金    | △1            | △21           | 20         | 0             | ▼1         |
| 資金支出の部合計  | 26,788        | 26,763        | 25         | 26,905        | ▼117       |
| 差引資金収支差額  | 1,198         | 95            | 1,103      | 657           | 541        |
| 前年度繰越支払資金 | 4,223         | 4,128         | 95         | 4,223         | 0          |
| 次年度繰越支払資金 | 5,421         | 4,223         | 1,198      | 4,880         | 541        |

(△は計算書式上のマイナス値) (▼は比較上の減少を表す)

(表 3) 貸借対照表

| 資 産 の 部       | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 増 減<br>①－② | (単位:百万円)<br>構成比率 |        |
|---------------|---------------|---------------|------------|------------------|--------|
|               |               |               |            | ①23年度            | ②22年度  |
|               |               |               |            |                  |        |
| 固定資産          | 45,019        | 46,050        | ▼1,031     | 83.2%            | 85.6%  |
| 有形固定資産        | 31,472        | 33,000        | ▼1,528     | 58.2%            | 61.3%  |
| 土地            | 3,206         | 3,206         | 0          |                  |        |
| 建物            | 20,911        | 22,235        | ▼1,324     |                  |        |
| 構築物           | 631           | 666           | ▼35        |                  |        |
| 教育研究用機器備品     | 5,193         | 5,554         | ▼361       |                  |        |
| その他の機器備品      | 57            | 54            | 3          |                  |        |
| 図書            | 1,241         | 1,236         | 5          |                  |        |
| 車輛            | 19            | 28            | ▼9         |                  |        |
| 建設仮勘定         | 214           | 21            | 193        |                  |        |
| その他の固定資産      | 13,547        | 13,050        | 497        | 25.0%            | 24.3%  |
| 電話加入権、施設利用権   | 12            | 12            | 0          |                  |        |
| 有価証券、出資金他     | 61            | 11            | 50         |                  |        |
| 収益事業元入金       | 1,011         | 679           | 332        |                  |        |
| 長期貸付金         | 579           | 464           | 115        |                  |        |
| 退職給与引当特定資産    | 6,138         | 6,138         | 0          |                  |        |
| 減価償却引当特定資産    | 3,096         | 3,096         | 0          |                  |        |
| 施設拡充引当特定資産    | 1,700         | 1,700         | 0          |                  |        |
| 海外交流引当特定資産    | 500           | 500           | 0          |                  |        |
| 医学部奨学事業特定資産   | 400           | 400           | 0          |                  |        |
| 臨床研修奨学事業特定資産  | 50            | 50            | 0          |                  |        |
| 流動資産          | 9,067         | 7,763         | 1,304      | 16.8%            | 14.4%  |
| 現金預金          | 5,421         | 4,223         | 1,198      |                  |        |
| 未収入金          | 3,449         | 3,378         | 71         |                  |        |
| 貯蔵品           | 159           | 161           | ▼2         |                  |        |
| 前払金、仮払金       | 38            | 1             | 37         |                  |        |
| 資 産 の 部 合 計   | 54,086        | 53,813        | 273        | 100.0%           | 100.0% |
| 負 債 の 部       | ① 23年度<br>決 算 | ② 22年度<br>決 算 | 増 減<br>①－② | 構成比率             |        |
|               |               |               |            | ①23年度            | ②22年度  |
|               |               |               |            |                  |        |
| 固定負債          | 11,152        | 11,095        | 57         | 20.6%            | 20.6%  |
| 学校債           | 3,469         | 3,529         | ▼60        |                  |        |
| 退職給与引当金       | 7,683         | 7,566         | 117        |                  |        |
| 流動負債          | 6,067         | 6,473         | ▼406       | 11.2%            | 12.0%  |
| 学校債           | 295           | 375           | ▼80        |                  |        |
| 未払金           | 2,614         | 2,655         | ▼41        |                  |        |
| 前受金           | 2,794         | 3,104         | ▼310       |                  |        |
| 預り金、仮受金       | 364           | 339           | 25         |                  |        |
| 負 債 の 部 合 計   | 17,219        | 17,568        | ▼349       | 31.8%            | 32.6%  |
| 正味財産の部 合計     | 36,867        | 36,245        | 622        | 68.2%            | 67.4%  |
| 負債及び正味財産の部 合計 | 54,086        | 53,813        | 273        | 100.0%           | 100.0% |

(▼は比較上の減少を表す)

## 2. 最近5カ年の財務状況

### (1) 消費収支の状況

(単位:百万円)

| 科 目     |          | 19年度   | 20年度    | 21年度   | 22年度    | 23年度   |
|---------|----------|--------|---------|--------|---------|--------|
| 収入の部    | 学生生徒等納付金 | 4,583  | 4,593   | 4,803  | 4,964   | 4,900  |
|         | 手数料      | 158    | 157     | 139    | 159     | 170    |
|         | 寄付金      | 735    | 564     | 559    | 631     | 836    |
|         | 補助金収入    | 1,429  | 2,036   | 1,449  | 1,148   | 1,317  |
|         | 資産運用収入   | 970    | 389     | 219    | 150     | 135    |
|         | 事業収入     | 207    | 205     | 232    | 258     | 298    |
|         | 医療収入     | 16,995 | 17,020  | 17,500 | 18,271  | 18,811 |
|         | 雑収入      | 122    | 135     | 114    | 100     | 133    |
| 帰属収入合計  |          | 25,199 | 25,099  | 25,015 | 25,681  | 26,600 |
| 支出の部    | 人件費      | 11,455 | 11,571  | 11,933 | 12,149  | 12,234 |
|         | 教育研究経費   | 2,255  | 2,296   | 2,356  | 2,292   | 2,436  |
|         | 医療経費     | 9,868  | 10,250  | 10,280 | 10,259  | 10,581 |
|         | 管理経費     | 605    | 621     | 593    | 584     | 686    |
|         | 借入金等利息   | 0      | 0       | 2      | 1       | 1      |
|         | 資産処分差額   | 10     | 3,576   | 264    | 1,500   | 29     |
|         | 徴収不能額等   | 17     | 6       | 11     | 6       | 11     |
|         | 消費支出の部合計 | 24,210 | 28,320  | 25,439 | 26,791  | 25,978 |
| 収 支 差 額 |          | 989    | △ 3,221 | △ 424  | △ 1,110 | 622    |

### (2) 資金収支の状況

(単位:百万円)

| 科 目       |            | 19年度    | 20年度    | 21年度    | 22年度    | 23年度    |
|-----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 収入の部      | 学生生徒等納付金収入 | 4,583   | 4,593   | 4,803   | 4,964   | 4,900   |
|           | 手数料収入      | 158     | 157     | 139     | 159     | 170     |
|           | 寄付金収入      | 720     | 531     | 553     | 620     | 800     |
|           | 補助金収入      | 1,429   | 2,036   | 1,449   | 1,148   | 1,317   |
|           | 資産運用収入     | 970     | 389     | 219     | 150     | 135     |
|           | 事業収入       | 207     | 205     | 232     | 258     | 298     |
|           | 医療収入       | 16,995  | 17,020  | 17,500  | 18,270  | 18,811  |
|           | 雑収入        | 122     | 135     | 114     | 98      | 133     |
|           | 借入金等収入     | 510     | 1,318   | 1,350   | 1,404   | 1,385   |
|           | 前受金収入      | 3,929   | 3,698   | 3,491   | 3,104   | 2,794   |
|           | その他の収入     | 3,751   | 4,679   | 4,033   | 3,558   | 3,807   |
| 資金収入調整勘定  | 資金収入調整勘定   | △ 7,726 | △ 7,663 | △ 6,910 | △ 6,875 | △ 6,564 |
|           | 合 計        | 25,648  | 27,098  | 26,973  | 26,858  | 27,986  |
| 支出の部      | 人件費支出      | 11,441  | 11,389  | 11,839  | 12,194  | 12,117  |
|           | 教育研究経費支出   | 1,498   | 1,552   | 1,595   | 1,601   | 1,703   |
|           | 医療経費支出     | 8,201   | 8,587   | 8,485   | 8,455   | 8,771   |
|           | 管理経費支出     | 535     | 557     | 490     | 479     | 583     |
|           | 借入金等利息支出   | 0       | 0       | 2       | 1       | 1       |
|           | 借入金等返済支出   | 366     | 1,532   | 1,561   | 1,482   | 1,525   |
|           | 施設関係支出     | 242     | 3,067   | 537     | 853     | 487     |
|           | 設備関係支出     | 1,371   | 1,115   | 832     | 734     | 624     |
|           | 資産運用支出     | 950     | 1,033   | 1,255   | 741     | 382     |
|           | その他の支出     | 3,007   | 2,717   | 2,929   | 2,899   | 3,209   |
|           | 資金支出調整勘定   | △ 2,382 | △ 2,450 | △ 2,424 | △ 2,676 | △ 2,614 |
| 差引資金収支差額  | 資金支出調整勘定   | △ 2,382 | △ 2,450 | △ 2,424 | △ 2,676 | △ 2,614 |
|           | 合 計        | 25,229  | 29,099  | 27,101  | 26,763  | 26,788  |
|           | 差引資金収支差額   | 419     | △ 2,001 | △ 128   | 95      | 1,198   |
| 前年度繰越支払資金 |            | 5,838   | 6,257   | 4,256   | 4,128   | 4,223   |
| 次年度繰越支払資金 |            | 6,257   | 4,256   | 4,128   | 4,223   | 5,421   |

## (3) 貸借対照表

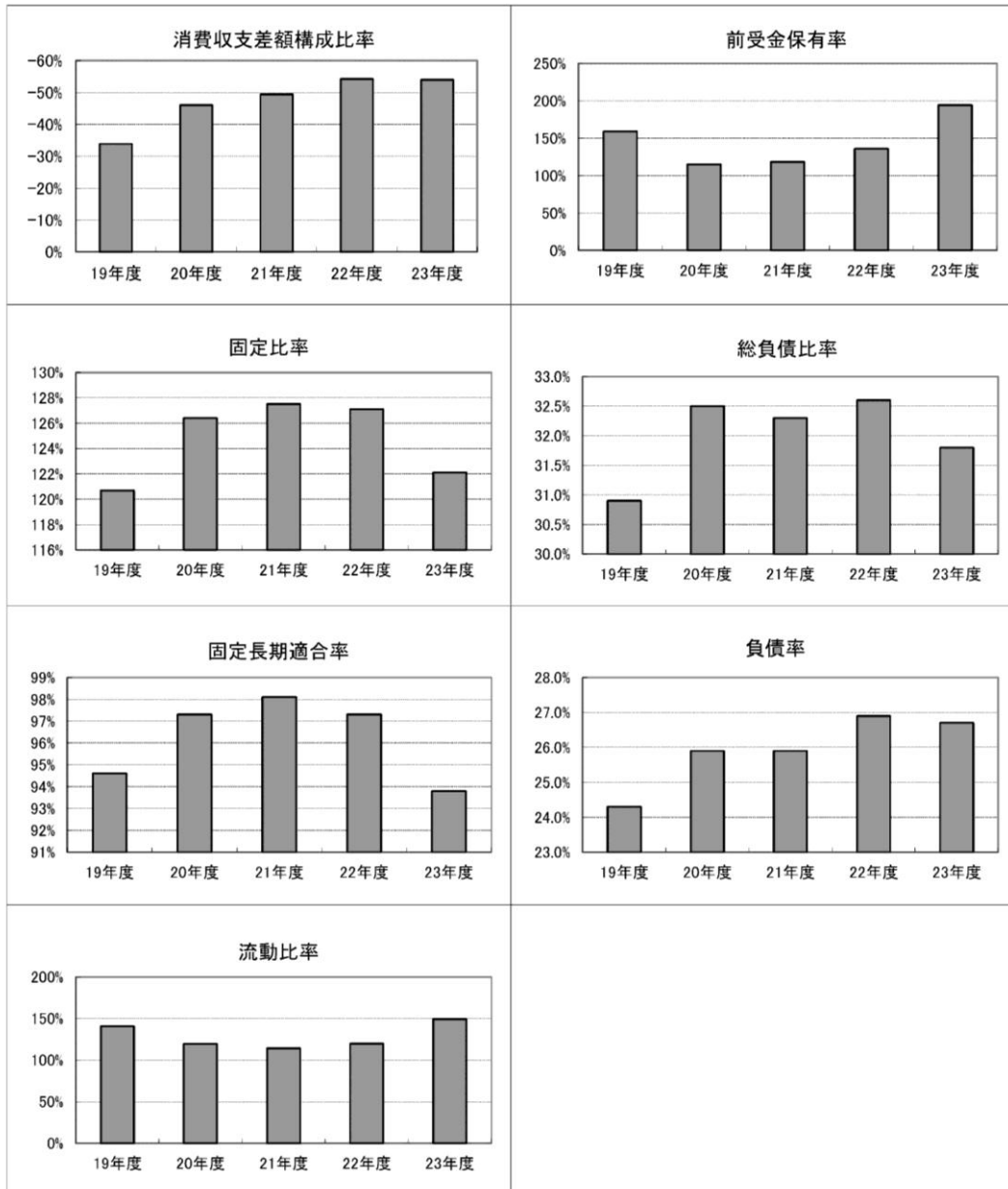
(単位:百万円)

| 資 産 の 部         |        |        |        |        |        |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 科 目             | 19年度   | 20年度   | 21年度   | 22年度   | 23年度   |
| 固 定 資 産         | 49,497 | 47,754 | 47,639 | 46,050 | 45,019 |
| 土地              | 3,098  | 3,206  | 3,206  | 3,206  | 3,206  |
| 建物              | 22,863 | 23,992 | 23,088 | 22,235 | 20,911 |
| 構築物             | 760    | 759    | 711    | 665    | 631    |
| 教育研究用機器備品       | 5,820  | 5,959  | 5,778  | 5,554  | 5,193  |
| その他の機器備品        | 65     | 60     | 57     | 54     | 57     |
| 図書              | 1,217  | 1,225  | 1,230  | 1,237  | 1,241  |
| 車輛              | 28     | 35     | 31     | 28     | 19     |
| 建設仮勘定           | 0      | 123    | 0      | 21     | 214    |
| 退職給与引当特定資産      | 5,638  | 6,138  | 6,138  | 6,138  | 6,138  |
| 減価償却引当特定資産      | 8,100  | 4,749  | 4,489  | 3,096  | 3,096  |
| 施設拡充引当特定資産      | 1,000  | 0      | 1,000  | 1,700  | 1,700  |
| 医学教育海外交流引当特定資産  | 500    | 500    | 500    | 500    | 500    |
| 医学部奨学事業引当特定資産   | 300    | 400    | 400    | 400    | 400    |
| 臨床研修奨学事業引当特定資産  | 0      | 0      | 50     | 50     | 50     |
| その他の固定資産        | 108    | 608    | 961    | 1,166  | 1,663  |
| 流 動 資 産         | 9,819  | 8,183  | 7,519  | 7,763  | 9,067  |
| 現金預金            | 6,257  | 4,256  | 4,128  | 4,222  | 5,421  |
| 未収入金            | 3,357  | 3,728  | 3,202  | 3,379  | 3,449  |
| その他の流動資産        | 205    | 199    | 189    | 162    | 197    |
| 資 産 の 部 合 計     | 59,316 | 55,937 | 55,158 | 53,813 | 54,086 |
| 負 債 の 部         |        |        |        |        |        |
| 科 目             | 19年度   | 20年度   | 21年度   | 22年度   | 23年度   |
| 固 定 負 債         | 11,344 | 11,322 | 11,218 | 11,095 | 11,152 |
| 学校債             | 4,007  | 3,803  | 3,605  | 3,529  | 3,469  |
| 退職給与引当金         | 7,337  | 7,519  | 7,613  | 7,566  | 7,683  |
| 流 動 負 債         | 6,972  | 6,836  | 6,585  | 6,473  | 6,058  |
| 学校債             | 400    | 390    | 377    | 375    | 295    |
| 未払金             | 2,363  | 2,433  | 2,424  | 2,655  | 2,614  |
| 前受金             | 3,929  | 3,698  | 3,491  | 3,104  | 2,794  |
| 預り金、仮受金         | 280    | 315    | 293    | 339    | 355    |
| 負 債 の 部 合 計     | 18,316 | 18,158 | 17,803 | 17,568 | 17,210 |
| 正 味 財 産 の 部 合 計 | 41,000 | 37,779 | 37,355 | 36,245 | 36,876 |
| 負債及び正味財産の部合計    | 59,316 | 55,937 | 55,158 | 53,813 | 54,086 |

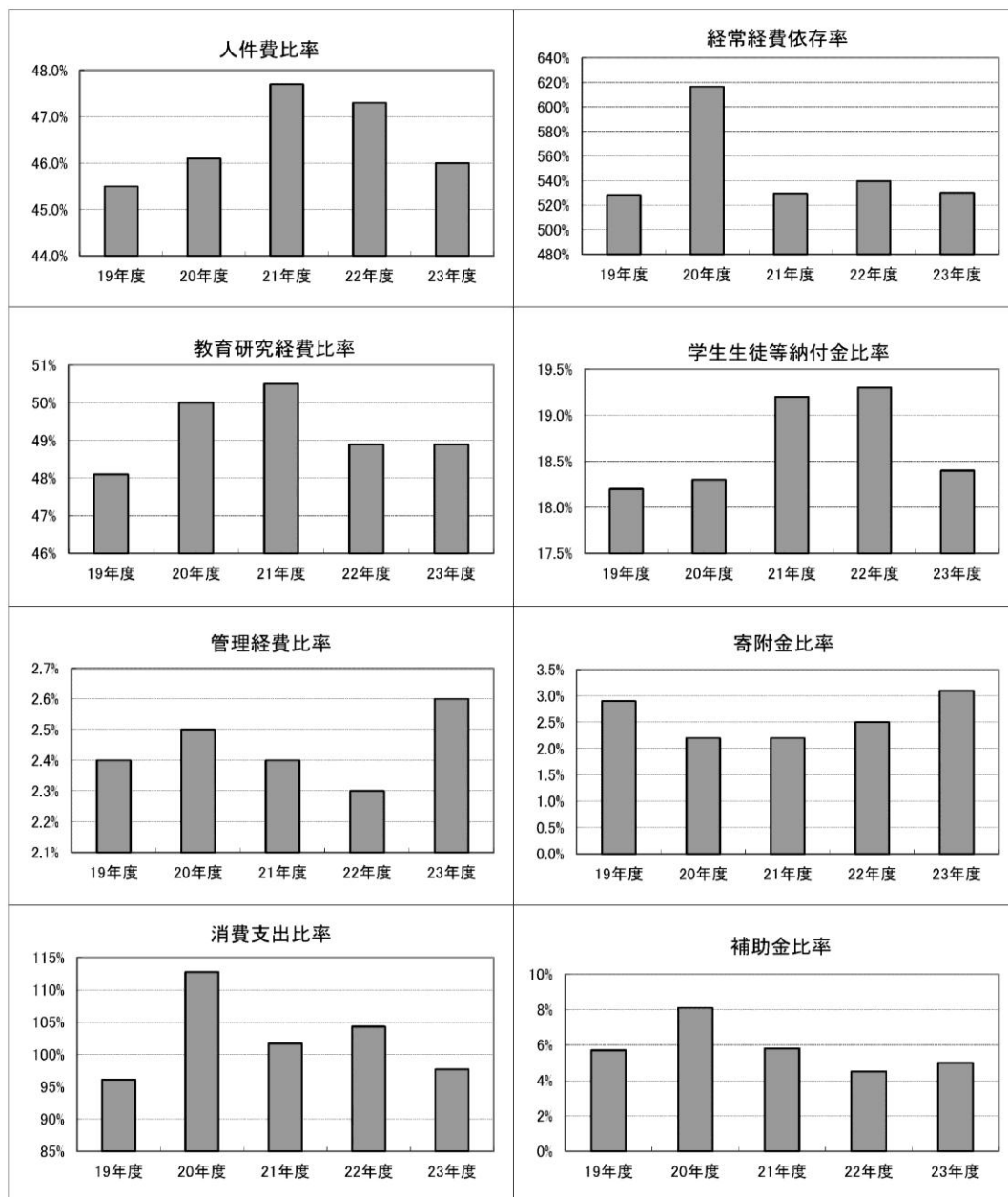
(4) 財務比率経年比較表

| 分類                              | 比 率           | 算式 (×100)                                 | 19年度   | 20年度   | 21年度   | 22年度   | 23年度   |
|---------------------------------|---------------|-------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 貸<br>借<br>対<br>照<br>表           | 消費収支差額構成比率    | $\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$      | -33.9% | -46.0% | -49.4% | -54.2% | -54.0% |
|                                 | 固 定 比 率       | $\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$   | 120.7% | 126.4% | 127.5% | 127.1% | 122.1% |
|                                 | 固 定 長 期 適 合 率 | $\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$ | 94.6%  | 97.3%  | 98.1%  | 97.3%  | 93.8%  |
|                                 | 流 動 比 率       | $\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$   | 140.8% | 119.7% | 114.2% | 119.9% | 149.4% |
|                                 | 前 受 金 保 有 率   | $\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$     | 159.2% | 115.1% | 118.2% | 136.0% | 194.0% |
|                                 | 総 負 債 比 率     | $\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 金}}$       | 30.9%  | 32.5%  | 32.3%  | 32.6%  | 31.8%  |
|                                 | 負 債 率         | $\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$     | 24.3%  | 25.9%  | 25.9%  | 26.9%  | 26.7%  |
| 消<br>費<br>収<br>支<br>計<br>算<br>書 | 人 件 費 比 率     | $\frac{\text{人 件 費}}{\text{婦 属 収 入}}$     | 45.5%  | 46.1%  | 47.7%  | 47.3%  | 46.0%  |
|                                 | 教育研究経費比率      | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{婦 属 収 入}}$    | 48.1%  | 50.0%  | 50.5%  | 48.9%  | 48.9%  |
|                                 | 管 理 経 費 比 率   | $\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{婦 属 収 入}}$   | 2.4%   | 2.5%   | 2.4%   | 2.3%   | 2.6%   |
|                                 | 消 費 支 出 比 率   | $\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{婦 属 収 入}}$   | 96.1%  | 112.8% | 101.7% | 104.3% | 97.7%  |
|                                 | 【経常経費依存率】     | $\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$  | 528.2% | 616.5% | 529.6% | 539.7% | 530.2% |
|                                 | 学生生徒等納付金比率    | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{婦 属 収 入}}$  | 18.2%  | 18.3%  | 19.2%  | 19.3%  | 18.4%  |
|                                 | 寄 付 金 比 率     | $\frac{\text{寄 付 金}}{\text{婦 属 収 入}}$     | 2.9%   | 2.2%   | 2.2%   | 2.5%   | 3.1%   |
|                                 | 補 助 金 比 率     | $\frac{\text{補 助 金}}{\text{婦 属 収 入}}$     | 5.7%   | 8.1%   | 5.8%   | 4.5%   | 5.0%   |

### 主な財務比率の経年比較(貸借対照表関係)



### 主な財務比率の経年比較(消費収支計算書関係)



### 3. 金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書及び貸借対照表（表4参照）

平成23年度は9月から新病院が開院し、これに伴う移転費用、備品購入、医療スタッフの増員及び式典を含む記念事業等の実施により支出が大幅に増加した。

このため経常利益は3億3千3百万円の支出超過という結果になった。

#### 《損益計算書》

医業収益は前年比3億9千5百万円増の46億円、医業費用が前年比8億1千万円増の53億1千8百万円で、差引医業収益は7億1千8百万円の支出超過となり、医業外収益3億8千5百万円を含めた当期経常利益は、3億3千3百万円の支出超過となった。

#### 医業収益

入院収益は前年比3億2千万円増の28億3千3百万円、外来収益は前年比7千2百万円増の17億5千5百万円。

#### 医業費用

材料費が前年比2億3千8百万円増の15億7千1百万円、給与費が前年比4億4千8百万円増の28億2千9百万円、委託費が4億4千7百万円、設備関係費が1億1千7百万円、その他の経費で2億4千5百万円、氷見市への指定管理者負担金は2千9百万円増の1億9百万円。

#### 医業外収益

氷見市からの交付金3億4千1百万円など補助金収益は3億6千5百万円。

#### 《貸借対照表》

資産総額は前年比2億2千7百万円増の13億6千4百万円、負債総額は前年比2億2千8百万円増の7億2千7百万円、純資産は前年比1百万円減の6億3千7百万円。

#### 流動資産

流動資産は前年比1億2千1百万円増の12億1千4百万円。

うち、現金預金は1千3百万円、未収入金は11億5千2百万円、貯蔵品は4千7百万円。

未収入金が1億3千1百万円増加しているのは、増収に伴う医療未収入金の増加によるもの。

#### 固定資産

固定資産は新病院用の機器備品を整備したため、前年比1億6百万円増の1億5千万円となった。

#### 流動負債

流動負債は前年比1億2千3百万円増の5億4千7百万円。

うち、未払金は3億6千万円、預り金は3千9百万円、賞与引当金は1億4千8百万円。

未払金が1億1百万円増加しているのは、増収に伴う薬品費等の医療材料費が増えたため。また、賞与引当金が2千2百万円増加しているのは医療スタッフの増加によるもの。

#### 固定負債

退職給付引当金は、指定管理者となって4年目となり、職員の引当金繰入額が大幅に増加したことから前年比1億5百万円増の1億8千万円となった。

#### 純資産

大学会計からの収益事業元入金は3億3千2百万円増の10億1千1百万円となった。

また、利益剰余金は3億7千4百万円のマイナス（累積損失）となっている。

以上

(表 4) 金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書及び貸借対照表

## 《損益計算書》

(単位:百万円)

| 科 目          | 決 算 額        | 前 年 比      | 科 目            | 決 算 額        | 前 年 比       |
|--------------|--------------|------------|----------------|--------------|-------------|
|              | 金 額          | 金 額        |                | 金 額          | 金 額         |
| <b>医業収益</b>  | <b>4,600</b> | <b>395</b> | <b>医業費用</b>    | <b>5,318</b> | <b>810</b>  |
| 入院収益         | 2,833        | 320        | 材料費            | 1,571        | 238         |
| 外来収益         | 1,755        | 72         | 給与費            | 2,829        | 448         |
| 受託事業収益       | 1            | ▼1         | 委託費            | 447          | 13          |
| 施設設備利用収益     | 11           | 4          | 設備関係費          | 117          | 42          |
|              |              |            | 経費             | 245          | 40          |
|              |              |            | 指定管理者負担金       | 109          | 29          |
|              |              |            | <b>医 業 利 益</b> | <b>△ 718</b> | <b>▼415</b> |
| <b>医業外収益</b> | <b>385</b>   | <b>20</b>  | <b>医業外費用</b>   | <b>0</b>     | <b>0</b>    |
| 寄付金収益        | 7            | ▼1         |                |              |             |
| 補助金収益        | 365          | 11         |                |              |             |
| 雑益           | 13           | 10         | <b>経 常 利 益</b> | <b>△ 333</b> | <b>▼395</b> |

## 《貸借対照表》

(単位:百万円)

| 科 目                | 決 算 額        | 前 年 比      | 科 目                    | 決 算 額        | 前 年 比      |
|--------------------|--------------|------------|------------------------|--------------|------------|
|                    | 金 額          | 金 額        |                        | 金 額          | 金 額        |
| <b>流動資産</b>        | <b>1,214</b> | <b>121</b> | <b>流動負債</b>            | <b>547</b>   | <b>123</b> |
| 現金及び預金             | 13           | 6          | 未払金                    | 360          | 101        |
| 未収入金               | 1,152        | 131        | 預り金                    | 39           | 0          |
| 徴収不能引当金            | △ 7          | ▼1         | 賞与引当金                  | 148          | 22         |
| 貯蔵品                | 47           | ▼16        | その他                    | 0            | 0          |
| その他                | 9            | 1          | <b>固定負債</b>            | <b>180</b>   | <b>105</b> |
| <b>固定資産</b>        | <b>150</b>   | <b>106</b> | 退職給付引当金                | 180          | 105        |
| 工具器具備品             | 168          | 119        | <b>負債の部合計</b>          | <b>727</b>   | <b>228</b> |
| 減価償却累計額            | △ 19         | ▼12        | <b>純資産</b>             | <b>637</b>   | <b>▼1</b>  |
| 車輛                 | 2            | 0          | 元入金                    | 1,011        | 332        |
| 減価償却累計額            | △ 1          | ▼1         | 利益剰余金                  | △ 374        | ▼333       |
|                    |              |            | <b>純資産の部合計</b>         | <b>637</b>   | <b>▼1</b>  |
| <b>資 産 の 部 合 計</b> | <b>1,364</b> | <b>227</b> | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>1,364</b> | <b>227</b> |

学校法人金沢医科大学

## 平成 23 年度事業報告書

---

発 行 日 平成 24 年 5 月 29 日

発 行 者 学校法人金沢医科大学理事長 竹越 襄

企 画・編 集 経営企画・広報室  
経理管財部

発 行 所 金沢医科大学出版局  
〒920-0293

石川県河北郡内灘大学1丁目1番地  
電話 076-286-2211(代表)